



グループリモコン
(コンパクト型グループコントローラ)

FHP-RC001

取扱・据付説明書〔第一版〕

- このたびはグループリモコンをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱・据付説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。
- お読みになったあとは、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。
- 本製品にはリコーインダストリアルソリューションズ株式会社が製作、販売したビットマップフォントを使用しています。

日本国内専用品
Use only in Japan

目次

1	安全上のご注意.....	4
2	仕様.....	6
2-1	製品仕様.....	6
2-2	外形図.....	6
2-3	各部の名称.....	7
2-4	同梱品.....	7
2-5	配線仕様.....	7
2-6	各端子のネジサイズ.....	7
3	取り付け要領.....	8
3-1	電源線・アース線、信号線、通信線の接続.....	8
3-2	電源線の接続方法.....	8
3-3	通信線の接続方法.....	9
3-4	外部設備との接続方法.....	10
3-5	取り付け方法.....	11
3-6	時計設定について.....	11
4	グループリモコン概要.....	12
4-1	概要.....	12
4-2	機能一覧.....	14
5	各部の名称と機能.....	15
6	アイコン一覧.....	16
7	画面構成.....	17
8	基本操作.....	19
9	運転状態の表示.....	20
9-1	全体情報.....	20
9-2	系統情報.....	20
9-3	MC情報.....	21
9-4	UC情報.....	21
9-5	サーキット情報.....	21
10	運転操作方法.....	22
10-1	グループリモコン運転/停止、運転パターン切替え.....	22
10-2	系統運転操作.....	24
11	故障履歴の表示.....	26
11-1	故障履歴の表示.....	26

1 1-2	故障履歴のクリア	26
1 2	設定項目	27
1 2-1	運転パターン設定	28
1 2-2	スケジュール設定	32
1 2-3	画面設定	35
1 2-4	ボタン設定	36
1 2-5	時計設定	37
1 2-6	入出力設定	38
1 2-7	言語設定	39
1 2-8	DNコード設定	39
1 3	保守項目	40
1 3-1	製品情報	41
1 3-2	入出力確認	41
1 3-3	パスワード設定	42
1 4	表示/設定項目一覧	43
1 4-1	情報画面表示項目一覧	43
1 4-2	入出力機能一覧	48
1 4-3	DNコード一覧	49
1 5	故障かな?と思ったときは	51
保証とアフターサービス	エラー! ブックマークが定義されていません。	

1 安全上のご注意

据え付け上の注意事項

- ・取り付け工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ取り付けてください。
- ・ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載しています。
- ・取り付け工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともにお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、この取扱・据付説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。

使用上の注意事項

- ・お使いになる人や他の人への危害、財産の損害を防ぐために、お守りいただくことを説明しています。
- ・「表示の説明」は、誤った取り扱いをしたときに生じる危害、損害の程度の区分を説明し、「図記号の説明」は図記号の意味を示しています。

表示の説明



警告

“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことが想定される内容”を示します。



注意

“取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（＊2）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊3）の発生が想定される内容”を示します。

- ＊1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
- ＊2：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
- ＊3：物的損害とは、建屋・設備・機械・什器および家畜等にかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明



禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。



指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。



警告

据え付け上の注意事項

 据え付けを依頼する	据え付けは、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する 据え付けには専門の知識と技術が必要です。ご自分で据え付け工事をされ不備があると、火災・感電・けがの原因になります。	 指示	アースを必ず接続すること アースが不完全な場合、感電の原因になります。電源を接続する前に、電気設備基準および内線規程に従った、D種接地工事をしてください。
 指定製品を使用する	接続機器は弊社指定の製品を使用する 接続機器は、弊社指定の製品を使用してください。指定以外の製品を使用すると、火災・感電・水漏れの原因になります。また、据え付けは専門の業者に依頼してください。	 指示	電気工事は、電気工事士の資格がある方が「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付説明書に従って行うこと 工事に不備があると、感電・火災などの原因になります。
 強制	指定以外の電源を使用しない 指定以外の電源を使用すると、火災・故障の原因になります。AC100VまたはAC200Vを使用してください。	作業を行う場合、必ず電源を落とすこと 感電の原因になります。	

使用上の注意事項

 禁止	ぬれた手でスイッチ類を操作しない 感電・故障の原因になります。	 禁止	機器をぬらさない 機器をぬらさないようにご注意ください。火災・感電・故障の原因になります。
 強制	異常時（焦げ臭いなど）は、電源を切る そのまま使うと、火災・感電の原因になります。修理をお買い上げの販売店にご依頼ください。	 禁止	電源スイッチやブレーカ等の入り切りにより熱源機の運転・停止をしないでください 火災・感電の原因になります。

移設・修理時の注意事項

 禁止	改造はしない 火災・感電の原因になります。
 移設を依頼する	接続機器を移動・再設置する場合は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する 据え付けに不備があると火災・感電・けがの原因になります。

 依頼する	修理はお買い上げの販売店に依頼する 修理に不備があると火災・感電の原因になることがあります。
---	---

⚠ 注意

据え付け上の注意事項

 禁止	次のような場所への設置は行わないこと ・ 可燃性ガスの漏れるおそれのある場所 ・ 湿気の多い場所や水のかかる場所 ・ ほこりの多い場所 ・ 直射日光のあたる場所や温度の高い場所 ・ テレビやラジオから1 m以内の場所 ・ 屋外や軒下など雨露のあたる場所 ・ 腐食性ガスや塩分を含む外気が侵入する場所 ・ 振動が多い場所
 指示	設置場所によっては漏電しゃ断器の取り付けが必要です。 漏電しゃ断器が取り付けられていないと感電の原因になることがあります。

 指示	配線は、正しい電流容量の配線で工事すること 漏電や発熱、火災などの原因になります。 配線は所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が加わらないようにすること 断線したり、発熱、火災の原因になります。 電源の一次側には必ずブレーカを設置すること メタルラス張り、ワイヤラス張りまたは金属板張りの木造造営物に取り付ける場合、壁には取り付けず、制御盤などに取り付けること
---	---

使用上の注意事項

 禁止	製品を落としたり、強い衝撃を与えない 故障の原因になります。
 指示	お手入れ時・点検時は、漏電しゃ断器を切る けがの原因になることがあります。

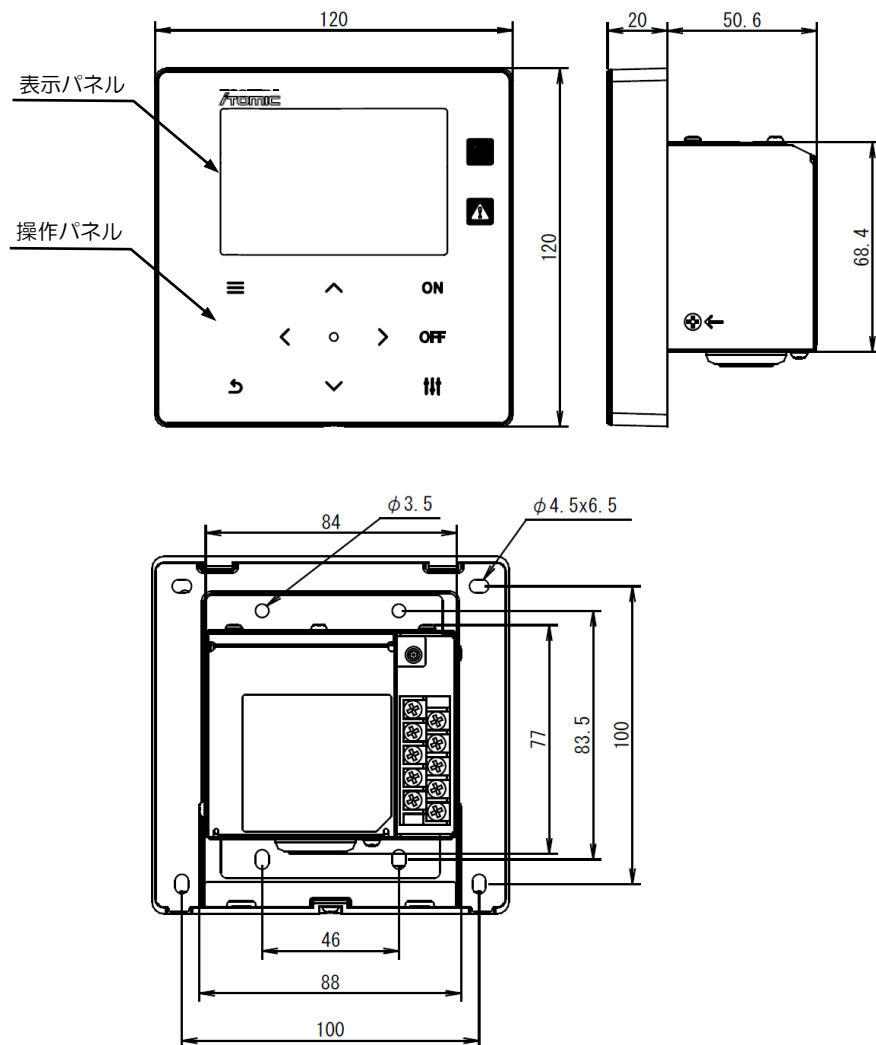
2 仕様

2-1 製品仕様

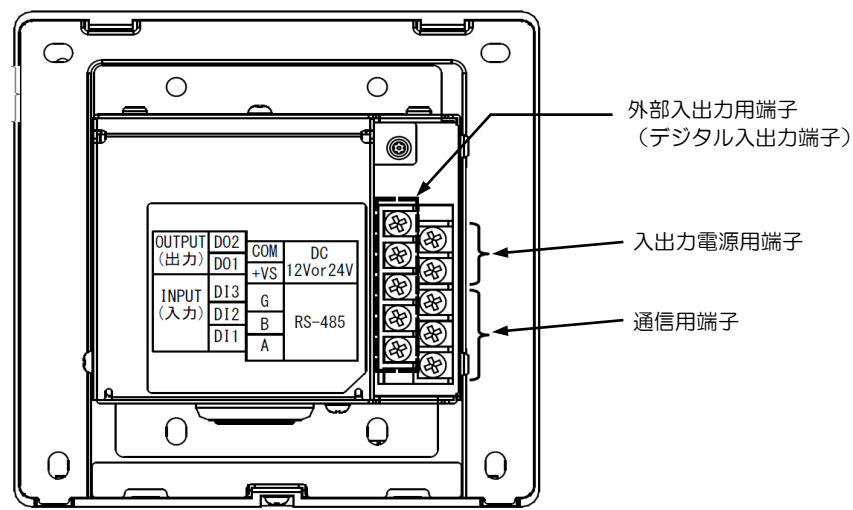
品名	グループリモコン
形名	FHP-RC001
電源	AC100～240V 50/60Hz
制御用電源	DC12V or 24V
消費電力	6W
接続台数	最大 2 系統
外部接点入力	3 点
外部接点出力	2 点
使用温湿度範囲	0℃～40℃、10%～90%RH（結露なきこと）
設置場所	屋内専用
寸法	高さ 120× 幅 120× 奥行 20 (+50.6) mm () 内は埋込寸法
質量	0.6kg

2-2 外形図

単位 (mm)



各部の名称



名称	機能
外部入出力用端子	外部接点入出力用の信号線を接続します
入出力電源用端子	外部接点入出力用の電源線を接続します
通信用端子	RS-485 通信線を接続します

2-3 同梱品

下記部品が入っているか確認してください。

No.	部品名	数量	備考
1	グループリモコン本体	1	
2	取扱・据付説明書	1	本紙
3	固定ネジ	4	M4×20
4	固定ネジ	4	M3.8×16

2-4 配線仕様

信号線、電源線の接続には、下記の配線材を使用します。(現地手配品)

No.	配線	配線線種・線径・線長
1	RS485 通信用	ツイストペアシールド線 0.75mm ² 、最長 100m 1.25 mm ² 、最長 500m
2	電源用	2mm ² 、最長 50m
3	デジタル入出力用	多芯ケーブル 0.5mm ² 、最長 100m

2-5 各端子のネジサイズ

端子	ネジサイズ
電源・アース端子	M4
外部入出力用端子	M3
入出力電源用端子	
通信用端子	

3 取り付け要領

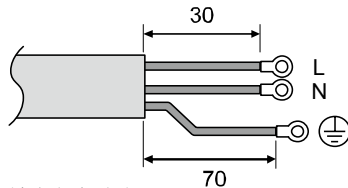
3-1 電源線・アース線、信号線、通信線の接続

電源・アース線、信号線、通信線を指定の端子に接続します。配線には、全て丸型圧着端子を取り付け、ネジをしっかりと締めつけてください。絞めつけた後、配線が抜けないことを確認してください。

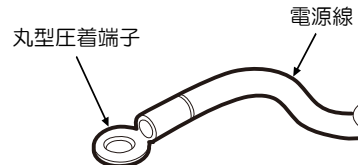
FHP 本体との通信異常が発生した場合には、故障コード：1D が表示されます。

配線の皮むき寸法について (単位：mm)

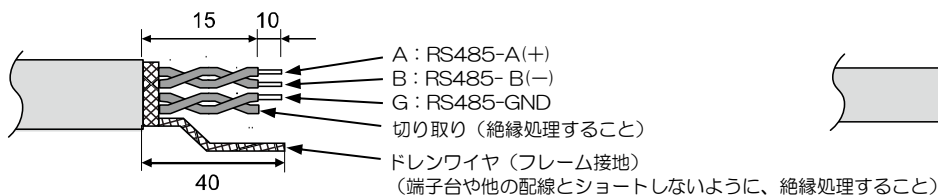
電源線皮むき寸法



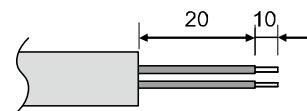
電源線の各線に丸型圧着端子を取付ける



通信線皮むき寸法



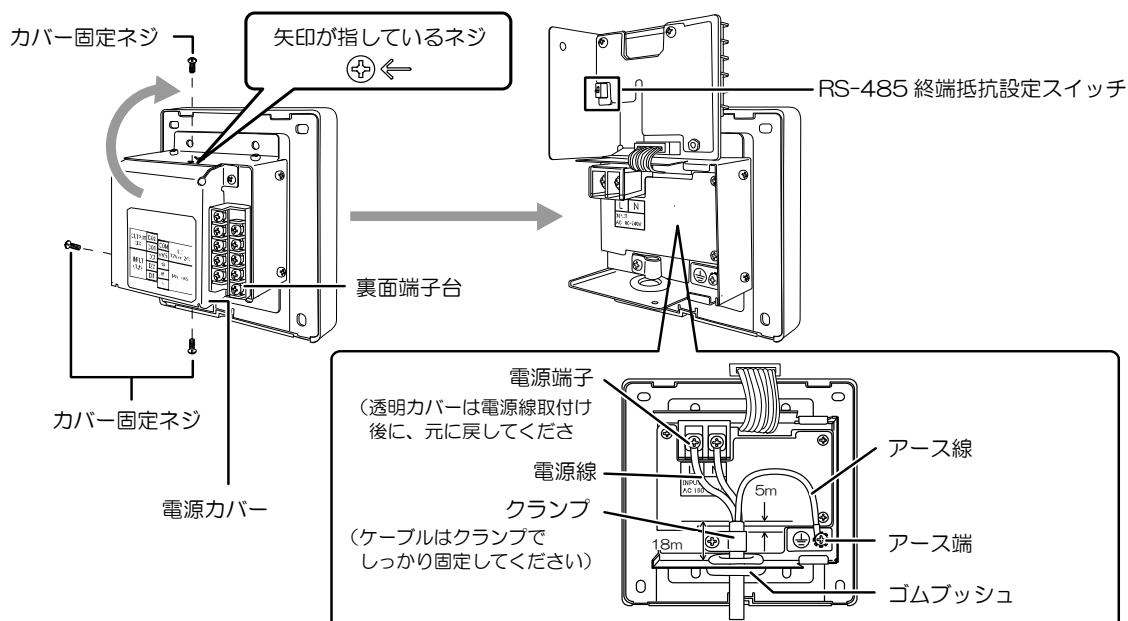
信号線皮むき寸法



3-2 電源線の接続方法

電源線とアース線の接続

- (1) 矢印が指しているカバー固定ネジ 3 本をはずし、カバーを開く
- (2) 電源ケーブルを通すために、ゴムブッシュに十字の切り込みを入れる
- (3) 電源ケーブルをゴムブッシュとクランプに通し、電源線とアース線を指定の端子へ接続する
- (4) カバーを閉じて、カバー固定ネジ 3 本で固定する

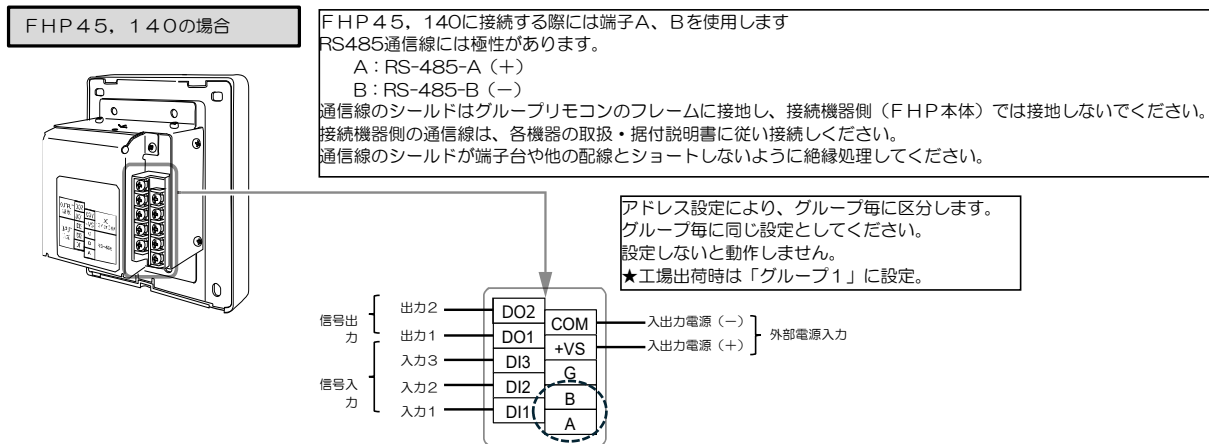
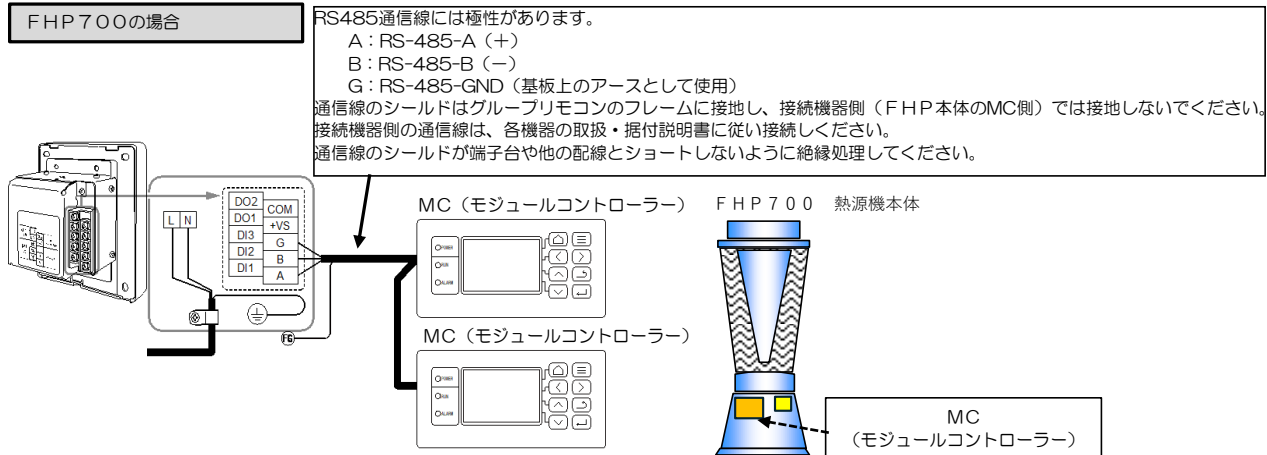


[お願い]

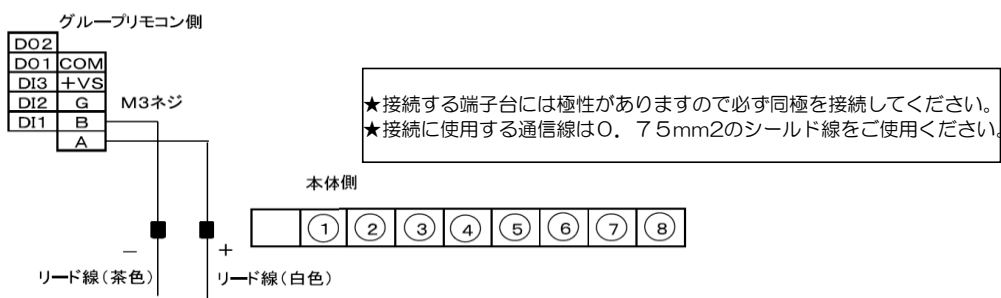
- ・電源の一次側に直接装置を接続しないでください。
- ・電源の一次側には必ずブレーカまたは漏電しゃ断器を設置してください。
- ・端子台ねじ締めの締め付けトルクは $0.5\text{N} \cdot \text{m}$ で行ってください。

3-3 通信線の接続方法（グループリモコン～熱源機本体）

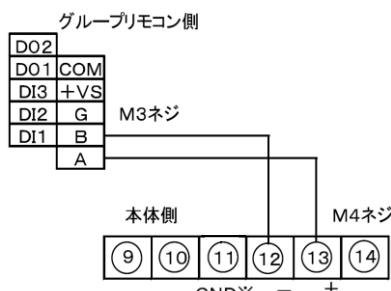
通信線接続要領



①FHP-H452Hとの接続方法

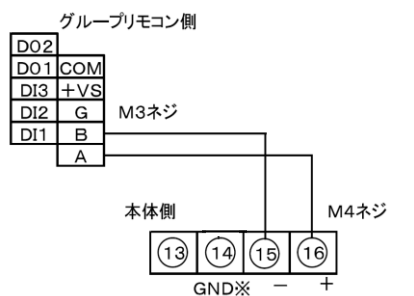


②FHP-H1401HLとの接続方法



※GNDはシールド線のシールド被覆の接続を示します。

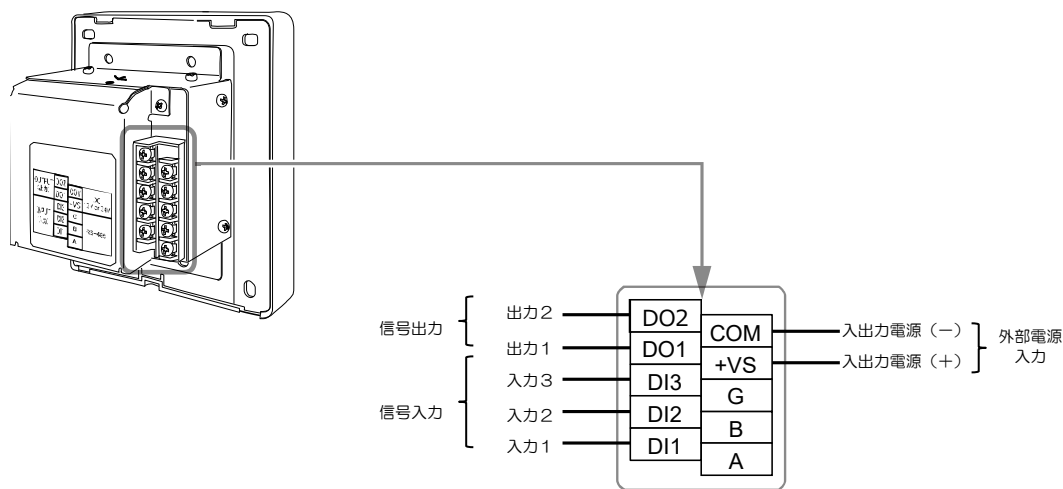
②FHP-H1401Sとの接続方法



※GNDはシールド線のシールド被覆の接続を示します。

★接続する端子台には極性がありますので必ず同極を接続してください。
 ★接続に使用する通信線は0.75mm²のシールド線をご使用ください。
 配線にノイズ等が発生する場合にはシールド線を使用し、シールドは本体側GNDにアース接続してください。

3-4 外部設備との接続方法



外部設備との接続例

名称	入出力項目	本機側			設備側	
		入出力条件	回路	端子名	回路例	入出力条件
デジタル入出力端子	状態出力	A 接点連続信号出力 接点許容電圧/電流 DC24V/90mA		+VS DO1 DO2		外部電源 + DC 12V or 24V - デジタル入力
	制御入力	A 接点連続信号またはパルス信号入力 (入力機能、設定により変わります。詳細は入出力機能一覧(P.48)をご参照ください。) 接点の選定は微小電流に対応しているものをご使用ください。		DI1 DI2 DI3 COM		パルス信号入力のパルス幅 500ms 以上

※ユーザーが直接、電源部に触れないようケーブルを配線してください。

※設備側は、基礎絶縁された電源回路を使用し、ユーザーの手に触れない場所に設置してください。

※デジタル入出力用の外部電源は別途ご準備ください。

※デジタル入力 1～3、デジタル出力 1～2 は「入出力設定(P.38)」で機能を割り振ることができます。

※グループリモコンは弊社遠隔監視やオープンプロトコル（BACnet、Modbus）による設備機器との接続はできません。

[お願い]

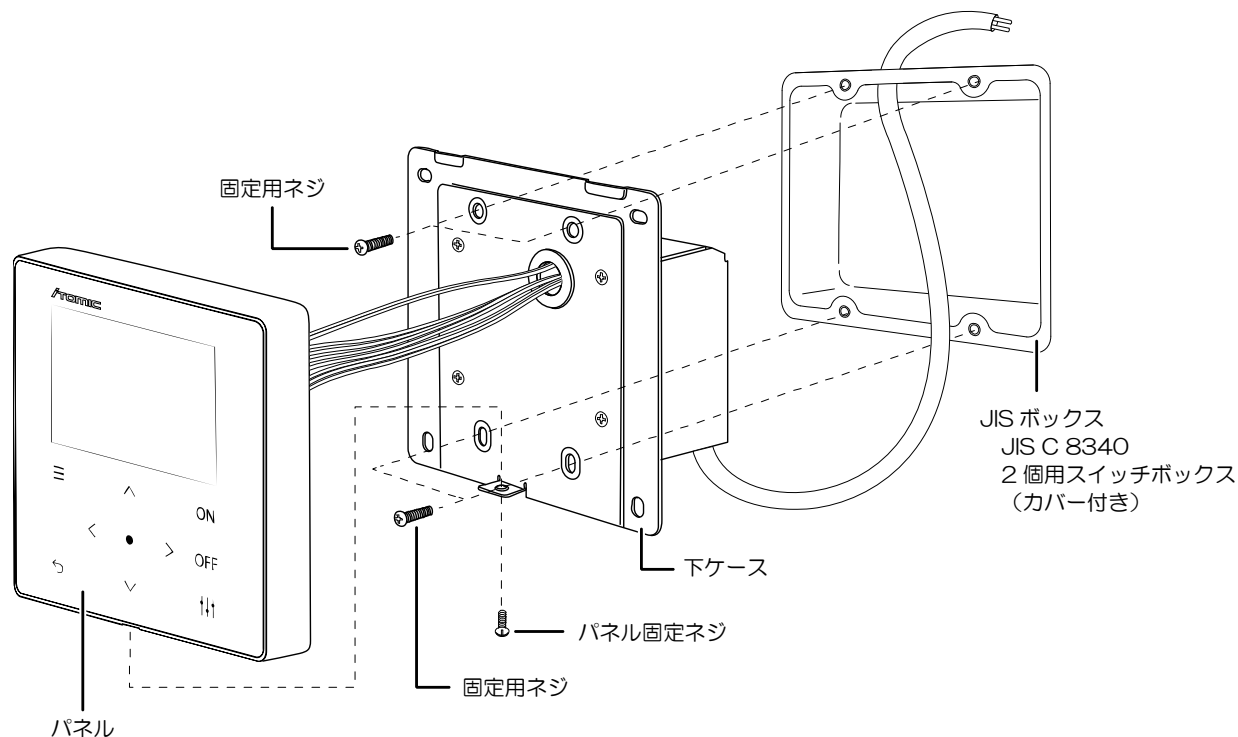
- 端子台ねじ締めは、締め付けトルクを 0.5N・mで行ってください。

3-5 取り付け方法

▲ 注意

- ・通信線、信号線は、電源配線などと一緒に引き回したり、同一金属管内に収納しないでください。故障の原因となります。
- ・グループリモコンはノイズ発生源から離して取り付けてください。

- (1) パネル固定ネジ 1 本をはずし、パネルを開く
- (2) あらかじめ壁内に埋め込まれた JIS ボックスに、同梱の固定用ネジ 4 本で下ケースを取り付ける
- (3) パネルを閉じ、パネル固定ネジ 1 本で取り付ける

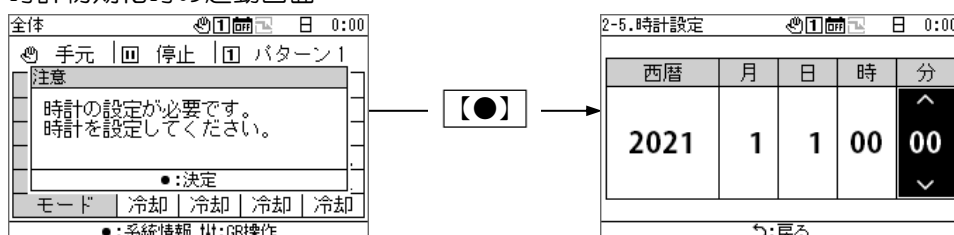


3-6 時計設定について

▲ 注意

- ・初回電源投入時または 3 日以上電源を遮断していた場合、時計が初期化される（2021 年 1 月 1 日になる）場合があります。時計が初期化された場合、電源投入時に下記メッセージが表示され、【●】（決定）ボタンを押すと時計設定画面に切り替わりますので、時計設定方法に従い、必ず時計の設定を実施してください。
- ・時計が初期化された場合、時計が設定されるまでスケジュールは実行されません。
- ・時計が初期化された場合、スケジュールの設定も初期化されます。（イベント設定は初期化されません）スケジュールを使用している場合は、時計設定後スケジュールを再設定してください。

時計初期化時の起動画面



4 グループリモコン概要

4-1 概要

グループリモコン（以降 GR と表記）はコンパクト型のグループコントローラで、下記熱源機器を接続し、熱源機器の水系統の振分け、運転モード、設定温度や運転/停止を指示します。

リモコンに接続可能な熱源機器

FHP45 (FHP-H452H)	FHP700 (FHP-H7001HM)	FHP140S (FHP-H1401S) FHP140HL (FHP-1401HL)
-------------------	----------------------	---

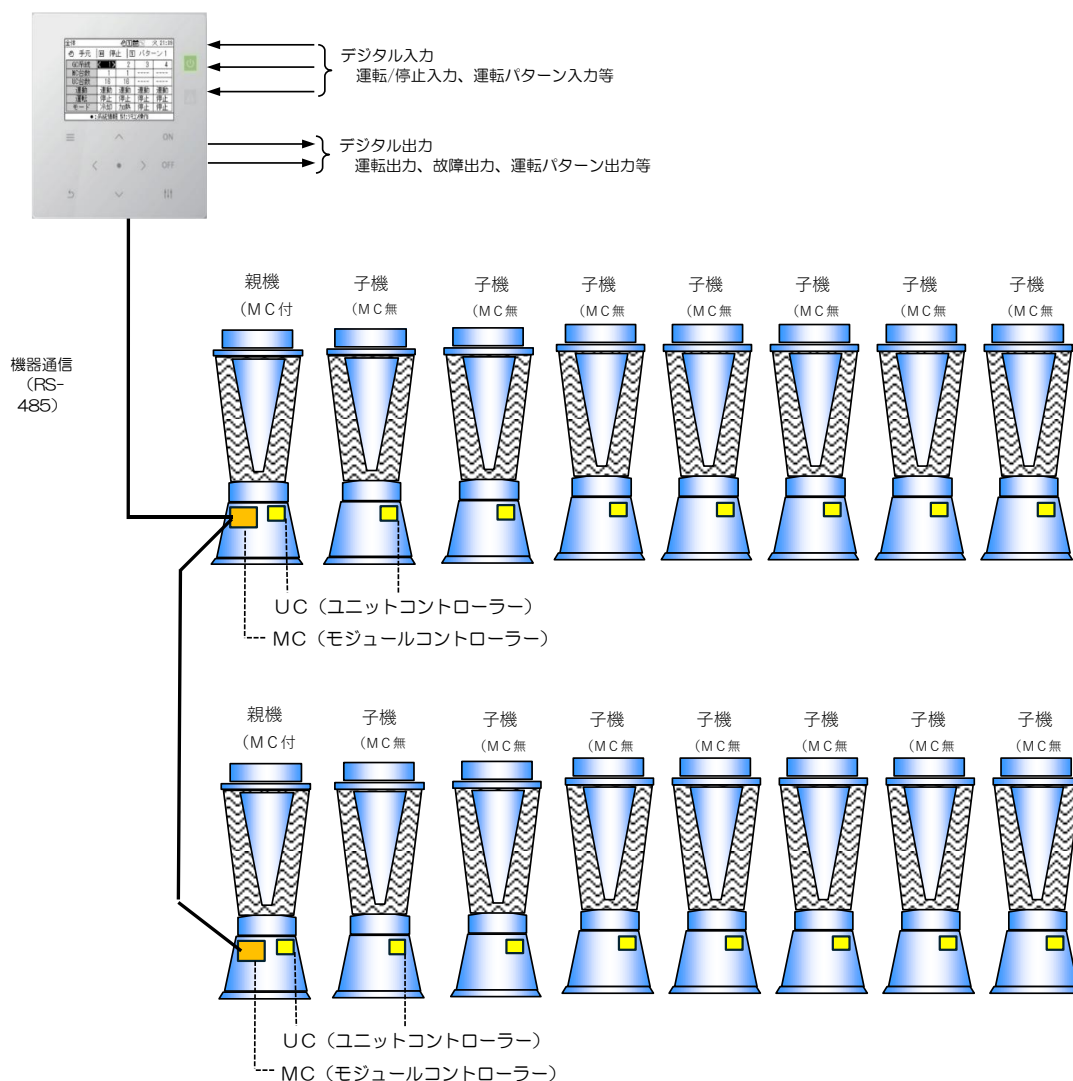
●リモコン設置時の注意点

接続する FHP シリーズにより、DN コードの設定（機種の設定）が必要です。

FHP45 (FHP-H452H)	DN コード設置不要（初期設定済）
FHP140HL (FHP-1401HL)	
FHP140S (FHP-H1401S)	DN コード設置必要（P.39 参照）
FHP700 (FHP-H7001HM)	DN コード設置必要（P.39 参照）

【FHP-H700HM の場合】

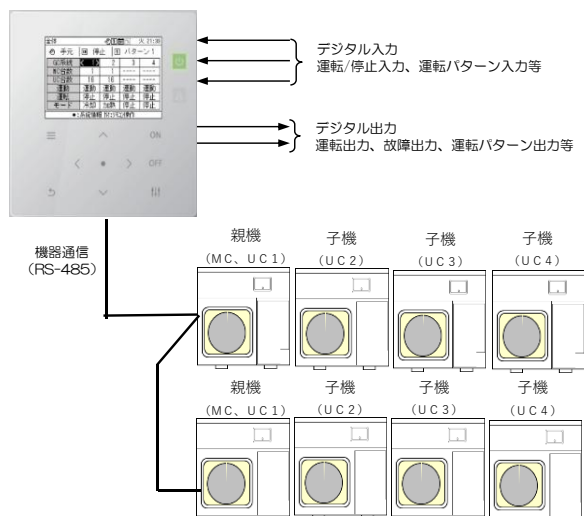
グループリモコン（GR）には、8 台を最大 2 系統 16 台まで接続することができます。



- * 親機にはMC（モジュールコントローラー）、UC（ユニットコントローラー）を内蔵しています
- * 子機にはUC（ユニットコントローラー）のみ内蔵しています
- * 系統には必ず親機を設置してください

【FHP-H452Hの場合】

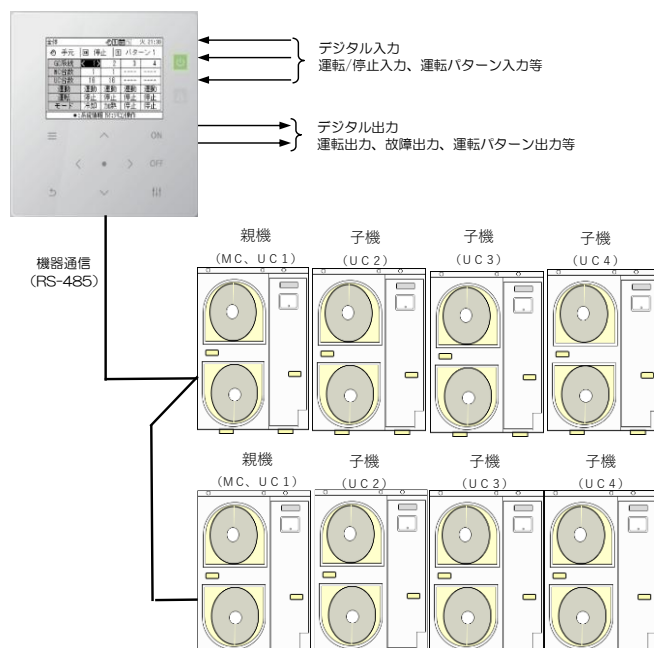
グループリモコン（GR）には4台を最大2系統8台まで接続することができます。複数台の接続をする場合にはFHP45本体側で親機・子機の設定を行います。



* FHP-H452H にグループリモコンを接続する際には別売部品 (HWC-H452H-HK1) が必要です。

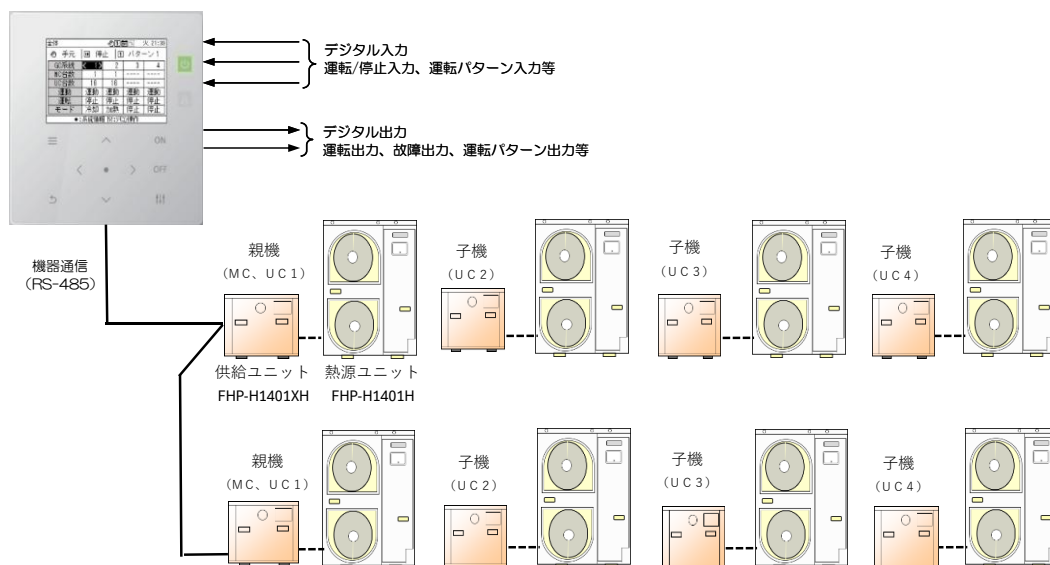
【FHP-H1401HLの場合】

グループリモコン（GR）には4台を最大2系統8台まで接続することができます。複数台の接続をする場合にはFHP140本体側で親機・子機の設定を行います。



【FHP-H1401Sの場合】

グループリモコン（GR）には4台を最大2系統8台まで接続することができます。複数台の接続をする場合にはFHP140の供給ユニットで親機・子機の設定を行います。



* FHP-H1401S にグループリモコンを接続する場合には、供給ユニット FHP-H1401XHA へ接続してください。

4-2 機能一覧

No.	機能		備考
1	運転状態表示	系統別	運転／停止、運転モード、故障有無、運転容量、出入口水温、熱源流量（注1）、簡易電力（注1）
2		モジュールコントローラ別（注3）	運転／停止、運転モード、故障コード、運転容量、出入口水温、熱源流量（注1）、簡易電力（注1）
3		モジュール別（注4）	運転／停止、運転モード、故障コード、運転容量、出入口水温、
4		サーキット別（注5）	冷凍サイクル内情報、圧縮機運転時間、圧縮機起動回数
5	運転状態出力（全体）		運転／停止、故障、運転容量、運転パターン
6	運転／停止		全体、系統別
7	パターン設定（切替え）		GRの運転パターンを設定、切替えることができます。
8	運転モード設定（切替え）		全ての系統の運転モードを設定、切替えることができます。
9	設定温度変更		全ての系統の設定温度を変更することができます。
10	デマンド（注2）		外部デマンド信号により、電流または運転容量を制限することができます。 デマンド電流、容量を設定することができます。
11	系統設定		接続されている全てのモジュールを系統分けすることができます。 （モジュールコントローラの系統毎）
12	スケジュール設定		運転スケジュールを設定することができます。（5 週間分）
13	故障履歴表示		故障履歴を確認することができます。
14	節電（注2）		デマンド設定を有効・無効に切替えることができます。 節電機能を有効にするためには、DN コードの設定が必要です。

注1：FHP45、140S、140HLの場合、流量計を設置し、信号入力することで熱源流量（循環流量）を表示することが可能となります。

FHP700の場合、流量計を設置し外部熱源側往水・還水温度センサの信号をMCに入力することで熱源流量、往水温度、還水温度を表示することが可能となります。

注2：FHP700のみ対応（FHP45、140S、140HLは、デマンド・節電機能に対応していません。）

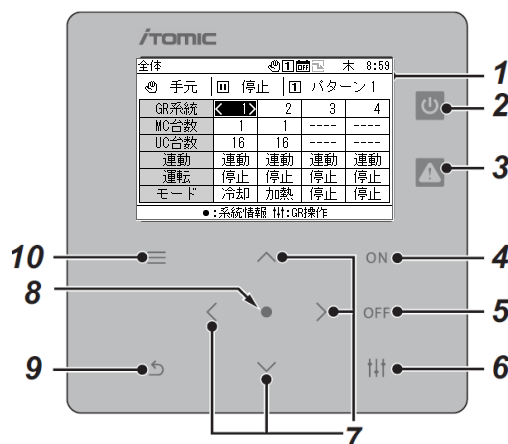
注3：FHP45、140HL、140Sの場合は親機となります。

注4：FHP45、140HL、140Sの場合は接続されている機器となります。

注5：FHP45、140HL、140Sの場合は、1サーキット（1冷凍サイクル）となります。

5 各部の名称と機能

操作パネル部



No.	名称	機能（注1）
1	液晶表示部	—
2	運転ランプ	運転中は点灯し、停止中は消灯します。 「運転出力レベル」の設定により、出力方法を変更することができます。（注2）
3	故障ランプ	故障が発生すると点灯します。 「故障出力レベル」の設定により、出力方法を変更することができます。（注2）
4	【ON】ボタン	運転する場合に押します。
5	【OFF】ボタン	停止する場合に押します。
6	【 】（制御）ボタン	GR 操作画面、系統操作画面を表示する場合に押します。
7	【H】【V】【←】【→】ボタン	項目を選択する場合に押します。
8	【●】（決定）ボタン	全体→系統→MC→UC→サーキットの画面切替えや、項目を選択して次画面に進む場合に押します。
9	【↶】（戻る）ボタン	ひとつ前の画面に戻る場合に押します。
10	【≡】（メニュー）ボタン	メニュー画面を表示する場合に押します。

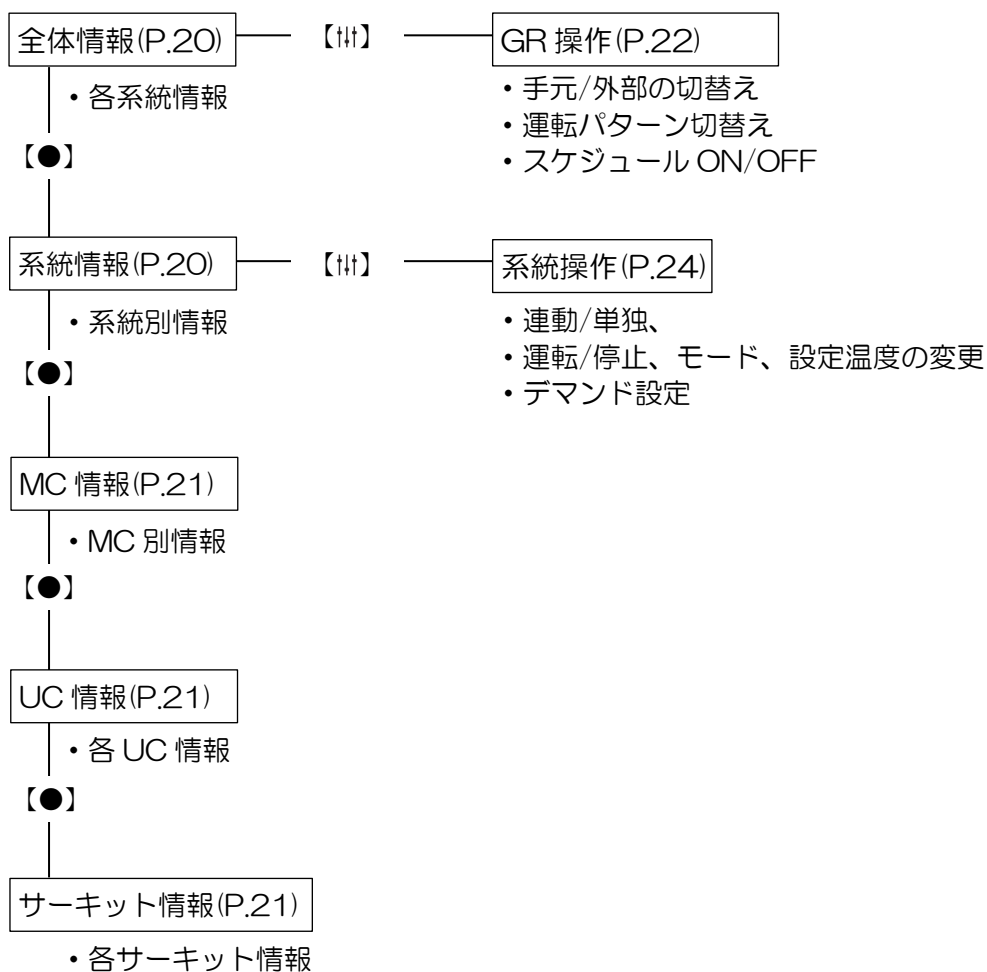
注1：バックライト設定が「OFF」以外の設定でバックライトが消灯している場合、いずれかのボタンを押してバックライトを点灯してください（ボタン長押し設定しているボタンの場合、長押し後バックライトが点灯します）。バックライト点灯後、ボタン操作が有効となります。

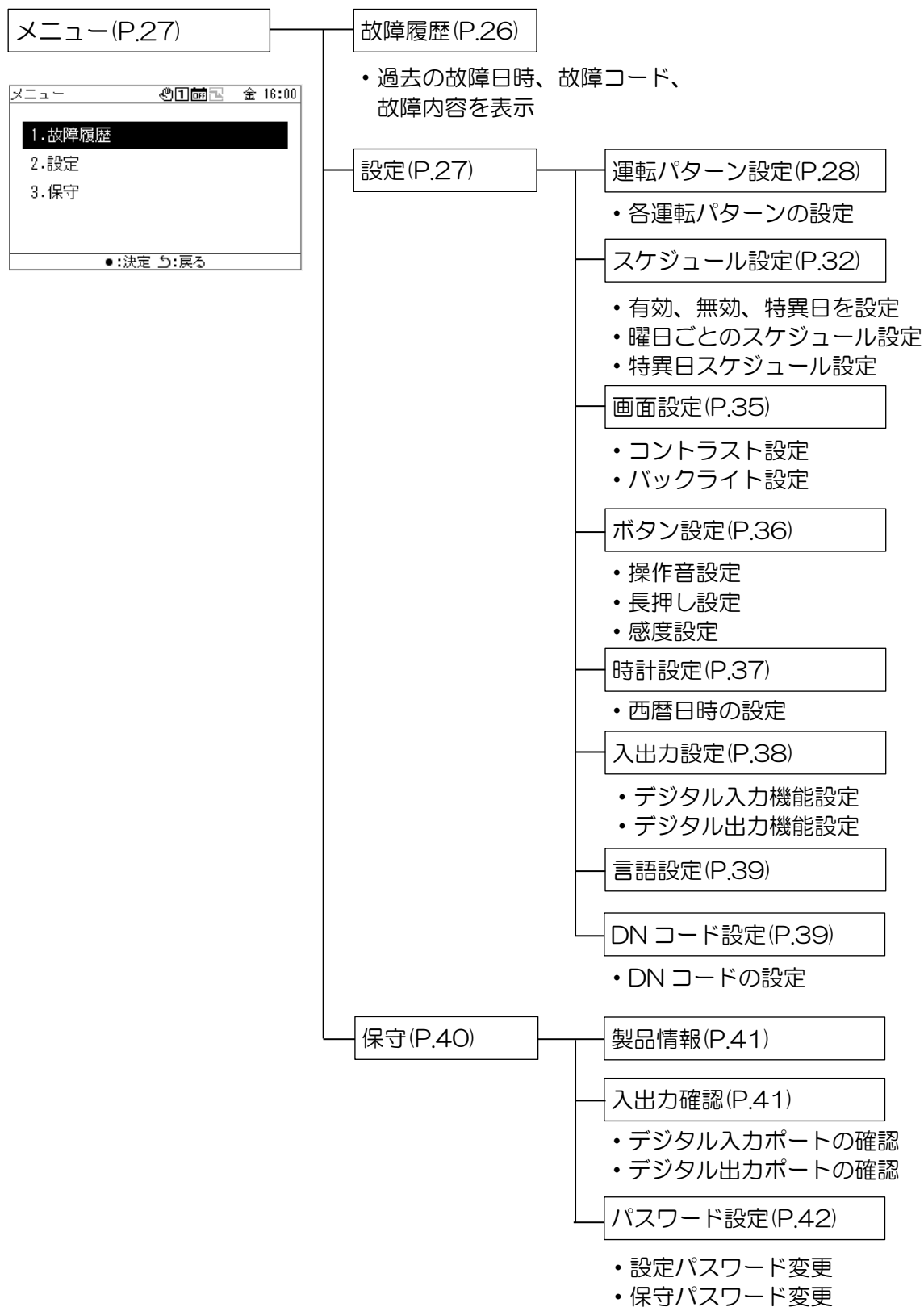
注2：詳細は「DN コード設定(P.39)」をご参照ください。変更内容は「DN コード一覧表(P.49)」をご参照ください。

6 アイコン一覧

項目	アイコン	状態	内容
手元/外部		手元	GR が手元であることを示します。
		外部	GR が外部であることを示します。
運転/停止		停止	停止中であることを示します。
		運転	運転中であることを示します。
運転パターン		パターン1	運転パターン1であることを示します。
		パターン2	運転パターン2であることを示します。
		パターン3	運転パターン3であることを示します。
		パターン4	運転パターン4であることを示します。
運転モード		停止モード	運転モードが停止であることを示します。
		冷却	運転モードが冷却であることを示します。（FHP では未使用）
		加熱	運転モードが加熱であることを示します。
		冷蔵	運転モードが冷却蓄熱であることを示します。（FHP では未使用）
		温蓄	運転モードが加熱蓄熱であることを示します。（FHP では未使用）
スケジュール		無効	スケジュールの実行が無効であることを示します。
		有効	スケジュールの実行が有効であることを示します。
デマンド 節電		OFF	デマンド・節電が OFF であることを示します。（FHP700 のみ）
		ON	デマンド・節電が ON であることを示します。（FHP700 のみ）
系統の上位 単独/連動		単独	系統が GR の運転と切り離され、単独であることを示します。
		連動	系統が GR 運転に連動していることを示します。
スケジュール 設定		無効	イベントが無効になっていることを示します。
		各曜日	曜日に対応するイベントが設定されていることを示します。
		特異日1	特異日1のイベントが設定されていることを示します。
		特異日2	特異日2のイベントが設定されていることを示します。
		特異日3	特異日3のイベントが設定されていることを示します。
その他		故障、注意	故障時や注意が必要な場合に表示します。
		再起動	再起動が必要な DN コードの設定項目であることを示します。

7 画面構成





8 基本操作

パスワード入力のしかた

メニュー画面の「設定」、「保守」を選択するとパスワード入力画面が表示されます。
パスワードが未設定の場合、数字を変えずに【●】(決定)を押してください。
間違ったパスワードを入力した場合は、エラーメッセージが表示され、機能が制限されます。



1 パスワード入力画面で【<】【>】で入力箇所を選択し、
【^】【v】を押して、数字を変更する

2 パスワード入力後、【●】(決定)を押す

GRでは「設定」のパスワードと「保守」のパスワードは異なります。
パスワードを変更する場合は、「パスワード設定(P.42)」を参照してください。

9 運転状態の表示

運転状態は、「全体情報画面」、「系統情報画面」、「MC 情報画面」、「UC 情報画面」、「サーキット情報画面」にて、状態を表示します。

各運転状態表示画面で表示する項目の詳細は「1 4-1 情報画面表示項目一覧 (P.43)」をご参照ください。

9-1 全体情報

GR系統	1	2	3	4
MC台数	1	1	----	----
UC台数	16	16	----	----
運転	運転	運転	運転	運転
停止	停止	停止	停止	停止
モード	冷却	加熱	停止	停止

●: 系統情報 卣: GR操作

- 【△】【▽】で表示している項目を切替えることができます。
- 【<】【>】でGR系統のカーソルが移動します。
- 【●】(決定)でカーソルが当たっている系統の系統情報画面に移動します。
- 【卣】(制御)でGR操作画面(P.23)に移動します。
- 【ON】【OFF】で全体の運転/停止を行います。
- 【≡】(メニュー)でメニュー画面に移動します。

9-2 系統情報

故障コード	
MC台数	1
UC台数	16
設定温度	7.0
出口水温	17.5
入口水温	17.5

●: MC情報 卣: 戻る 卣: 系統操作

- 【△】【▽】で表示している項目を切替えることができます。
- 【<】【>】で表示する系統が切替わります。
- 【●】(決定)でMC情報画面に移動します。
- 【卣】(制御)で系統操作画面(P.25)に移動します。
- 【ON】【OFF】で全体の運転/停止を行います。
- 【≡】(メニュー)でメニュー画面に移動します。

9-3 MC情報 ※FHP45、14OHL、14OS の場合は親機となります。

システムの運転/停止を表示します

システムの運転モードを表示します
(FHP では加熱のみの表示となります)

系統の操作パターンを表示します

表示中の系統番号を表示します

【△】【▽】で表示している項目を切替えることができます。

【<】【>】でMC-系統のカーソルが移動します。

【●】(決定)でUC 情報画面に移動します。

【ON】【OFF】で全体の運転/停止を行います。

【≡】(メニュー)でメニュー画面に移動します。

9-4 UC情報 ※FHP45、14OHL、14OS の場合は接続された機器となります。

運転/停止を表示します

運転モードを表示します
(FHP では加熱のみの表示となります)

操作パターンを表示します

表示中のMC 番号を表示します

【△】【▽】で表示している項目を切替えることができます。

【<】【>】でUC のカーソルが移動します。

【●】(決定)でサーキット情報画面に移動します。

【ON】【OFF】で全体の運転/停止を行います。

【≡】(メニュー)でメニュー画面に移動します。

9-5 サーキット情報 ※FHP45、14OHL、14OS の場合は接続された機器の1サーキット (1冷凍サイクル) となります。

運転/停止を表示します

運転モードを表示します
(FHP では加熱のみの表示となります)

操作パターンを表示します

表示中のUC 番号を表示します

【<】【>】で表示するUC を切替えることができます。

【ON】【OFF】で全体の運転/停止を行います。

【≡】(メニュー)でメニュー画面に移動します。

10 運転操作方法

10-1 グループリモコン運転/停止、運転パターン切替え

GR の運転/停止、運転パターンの切替えは、手元操作または外部信号により行います。

手元操作または外部信号のどちらで切替えるかは、GR の手元/外部、入出力機能設定によって下表のように変わります。

手元/外部の切替えについては「グループリモコン操作の設定を変更する場合(P.23)」をご参照ください。

操作項目	GR の状態		操作方法
	手元/外部	入出力設定	
運転/停止切替え	手元	—	手元操作 (ON ボタン、OFF ボタン操作)
	外部	運転/停止入力あり	外部信号
運転パターン切替え	手元	—	手元操作 (GR 操作画面による操作)
	外部	運転パターン入力あり	外部信号

(1) 運転/停止切替え

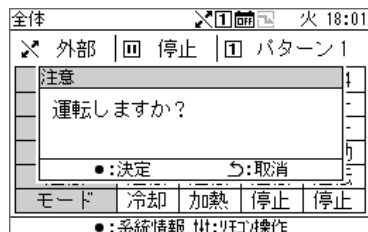
GR の運転/停止により「連動」に設定されている系統が、GR に連動して運転/停止します。

手元の場合

GR の手元操作 (ON ボタン、OFF ボタン操作) により、GR の運転/停止を切替えます。

手元/外部の切替えについては「グループリモコン操作の設定を変更する場合(P.23)」をご参照ください。

※故障履歴画面、各種設定・保守画面を表示中は、ON ボタン、OFF ボタン操作はできません。



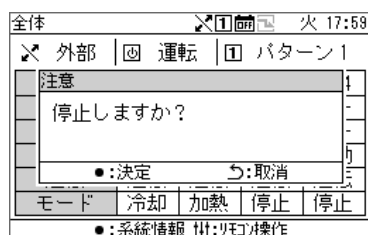
運転するとき

1 【ON】を押す

メッセージ画面が表示されます。

2 【●】(決定)を押す

「連動」の系統が運転状態になり、運転ランプが点灯します。



停止するとき

1 【OFF】を押す

メッセージ画面が表示されます。

2 【●】(決定)を押す

「連動」の系統が停止状態になり、運転ランプが消灯します。

外部(運転/停止入力設定時)の操作の場合

外部からの運転/停止入力信号により GR の運転/停止を切替えます。手元の運転操作 (ON ボタン操作) は無効になります。

外部信号で運転中に手元の停止操作 (OFF ボタン操作) をすると、メッセージが表示され、手元停止に切替えることができます。

手元/外部の切替えについては「グループリモコン操作の設定を変更する場合(P.23)」をご参照ください。

(2) 運転パターン切替え

手元の場合

「GR 操作画面」の操作にて、運転パターンを切替えます。

手元/外部の切替えについては「グループリモコン操作の設定を変更する場合(P.23)」をご参照ください。

外部(運転パターン入力設定時)の場合

外部からの運転パターン入力信号により運転パターンを切替えます。

「GR 操作画面」の運転パターン切替え操作は無効になります。

手元/外部の切替えについては「グループリモコン操作の設定を変更する場合(P.23)」をご参照ください。

(3) グループリモコン操作の設定を変更する場合

全体情報画面

全体		11:00		木 9:14	
外部		停止		パターン1	
GR系統	1	2	3	4	
MC台数	1	1	----	----	
UC台数	16	16	----	----	
運動	運動	運動	運動	運動	
運転	停止	停止	停止	停止	
モード	冷却	加熱	停止	停止	

●：系統復帰 止：停止操作

●:系統情報 H:GR操作

1 全体情報画面で【H】を押し、GR 操作画面を表示する

GR 操作画面

全体>>リモ操作		外部	停止	パターン1	火 17:00
手元	停止	パターン1			
操作	パターン	スケジュール			
手元	1	OFF			
手元	OFF	OFF			

5:戻る

2 【<】【>】で変更する項目を選ぶ

各項目の設定方法は以下表をご参照ください。

FHP の場合、パターンの中には加熱 (☀) のみの表示となります。

3 変更を確定する場合は、【5】(戻る)を押し、

メッセージ画面で【●】(決定)を押す

リモコン操作画面設定項目一覧

項目	内容
操作	【H】【V】で手元/外部を切替えます。
パターン	【H】【V】で運転パターン 1~4 を切替えます。 手元の時に操作が有効になります。 ※運転パターンの内容は「運転パターン設定(P.28)」で変更することができます。
スケジュール	【H】【V】で ON/OFF を切替えます。 ※時計が未設定の場合は動作しません。またイベントが未設定またはスケジュールが無効に設定されている日は動作しません。

10-2 系統運転操作

連動時は、GRの運転/停止に連動して運転/停止します。
 単独時は、系統操作画面で系統の運転操作を行います。
 連動/単独の切替えはP.25をご参照ください。

(1) 運転/停止切替え

連動の場合

GRの運転/停止および運転/パターンの運転モードに連動して系統も運転/停止します。

単独の場合

単独の場合、系統操作画面の運転操作により系統を運転/停止します。

全体情報画面

全体	木 8:59			
手元	停止	パターン1		
GR系統	1	2	3	4
MC台数	1	1	---	---
UC台数	16	16	---	---
連動	連動	連動	連動	連動
運転	停止	停止	停止	停止
モード	冷却	加熱	停止	停止

●:系統情報 H:GR操作

1 全体情報画面で【●】を押し、系統情報画面を表示する

系統情報画面

全体>系統		水 11:21	
◀系統▶ 単独		停止 冷却	
		故障コード	
		MC台数 1	
		UC台数 16	
		設定温度 7.0	
		出口水温 17.5	
		入口水温 17.5	
●:MC情報 左:戻る H:系統操作			

2 系統情報画面で【H】(制御)を押し、系統操作画面を表示する

系統操作画面

全体>系統>系統操作		水 11:27	
系統1	 単独	 停止	 冷却
操作	< 運転 >	モード	
 単独	 運転	 冷却	

←:戻る

3 【<】【>】を押し、運転にカーソルを当て、
 【^】【v】で「運転」を選択する
 停止する場合は、「停止」を選択してください。

4 【左】(戻る)を押す
 メッセージ画面が表示されます。

The image shows a control panel interface with a menu bar at the top. The menu bar contains the text "全体>系統>系統操作" (Overall > System > System Operation), a set of icons (a clock, a document, and a printer), and the time "水 11:28" (Wednesday 11:28). Below the menu bar, there are four buttons: "系統1" (System 1), "単独" (Independent), "停止" (Stop), and "冷却" (Cooling). A large white dialog box is centered on the screen with the title "注意" (Attention). The dialog box contains the text "操作を変更しますか?" (Do you want to change the operation?). At the bottom of the dialog box, there are two buttons: "決定" (Decision) and "取消" (Cancellation). Below the dialog box, there is a button labeled "戻る" (Back).

5 【●】(決定)を押す
 表示している系統が運転状態になり、運転ランプが点灯します。

※FHPの場合、モードは加熱(※)のみとなります。

(2) 系統操作の設定を変更する場合

系統操作画面



1 系統情報画面で【↑↑】を押し、系統操作画面を表示する

2 【<】【>】で変更する項目を選ぶ

各項目の設定方法は以下表をご参照ください。

3 変更を確定する場合は、【↵】(戻る)を押し、
メッセージ画面で【●】(決定)を押す

※FHP の場合、モードは加熱(※)のみとなります。

系統操作画面設定項目一覧

項目	内容																	
操作	【∧】【V】で連動/単独を切替えます。																	
運転	【∧】【V】で運転/停止を切替えます。 ※操作が「連動」の場合、操作することはできません。																	
モード	【∧】【V】で停止/冷却/加熱を切替えます。(FHP の場合、加熱のみになります) ※操作が「連動」の場合、操作することはできません。 ※モードを変更しても、運転パターンのモードは変更されません。																	
冷却設定温度 加熱設定温度 (FHP の場合、加熱 温度のみ設定します)	冷却/加熱の設定温度を設定します。(FHP の場合、加熱のみになります) 「冷却設定」または「加熱設定」を選び、【●】(決定)を押すと、設定温度入力画面が表示されます。 【<】【>】で入力箇所を、【∧】【V】で数値し変更し【●】(決定)を押します。 有効設定範囲は下表の通りです。(FHP の場合、加熱温度を設定ください) <table><tr><th rowspan="2">機種</th><th colspan="2">加熱設定温度[℃]</th></tr><tr><th>初期値</th><th>設定範囲</th></tr><tr><td>FHP700</td><td>65.0</td><td>50.0～90.0</td></tr><tr><td>FHP140S</td><td>65.0</td><td>50.0～90.0</td></tr><tr><td>FHP45S</td><td>64.0</td><td>30.0～64.0</td></tr><tr><td>FHP140HL</td><td>50.0</td><td>30.0～64.0</td></tr></table> ※設定温度を変更すると、現在選択されている運転パターンの設定温度が変更されます。	機種	加熱設定温度[℃]		初期値	設定範囲	FHP700	65.0	50.0～90.0	FHP140S	65.0	50.0～90.0	FHP45S	64.0	30.0～64.0	FHP140HL	50.0	30.0～64.0
機種	加熱設定温度[℃]																	
	初期値	設定範囲																
FHP700	65.0	50.0～90.0																
FHP140S	65.0	50.0～90.0																
FHP45S	64.0	30.0～64.0																
FHP140HL	50.0	30.0～64.0																
デマンド	デマンド電流を設定します。(FHP700 のみ設定可能です) 「デマンド」を選び、【●】(決定)を押すと、数値入力画面が表示されます。 【<】【>】で入力箇所を、【∧】【V】で数値し変更し【●】(決定)を押します。 入力できる値の範囲は、「0」～「30000」です。 ※初期値は「0」になっています。設定を間違えてデマンド・節電を有効にするとユニットが停止しますので注意してください。 ※デマンド電流・容量を変更すると、現在選択されている運転パターンのデマンド電流・容量が変更されます。																	

1 1 故障履歴の表示

GR および、MC の故障履歴を最大で各 8 件分を表示することができます。

故障履歴では、故障発生日時、故障した MC 番号、故障した UC 番号、故障したサーキット名、故障コード、故障内容を表示します。

MC 故障履歴データの年情報有無により、表示方法が変わります。

年情報あり：故障が発生すると、最新の故障コードが一番上に表示されます。

年情報なし：GR、MC1、MC2 の順で表示されます。

※年情報なしの機器が 1 台でも含まれている場合、年情報なしの表示方法になります。

1 1-1 故障履歴の表示

メニュー画面

メニュー 水 14:39

1. 故障履歴

2. 設定

3. 保守

●:決定 ㊤:戻る

1 【三】 を押し、メニュー画面を表示する

故障履歴画面

1. 故障履歴 木 18:14

No.	日付	時刻	MC	UC	サーキット	コード
1	'22/ 5/26	18:13	1	--	--	12
2	'22/ 5/26	18:12	1	--	--	12
3	'22/ 5/26	18:11	1	--	--	1C
4	'22/ 5/26	18:08	1	--	--	1C
5	'22/ 5/19	14:15	1	1	A	60
6	'22/ 5/19	13:50	1	1	A	60
7	'22/ 5/19	12:50	1	1	D	60
8	'22/ 5/19	12:50	1	1	C	60

●:クリア ㊤:戻る

2 メニュー画面で「故障履歴」を選び【●】(決定)を押す

- ・【∧】【V】でページを切替えます。
- ・【<】【>】で故障内容を表示します。

【<】【>】を選択

1. 故障履歴 木 18:18

No.	コード	故障内容
1	12	内部通信異常
2	12	内部通信異常
3	1C	GR通信異常
4	1C	GR通信異常
5	60	高圧異常
6	60	高圧異常
7	60	高圧異常
8	60	高圧異常

●:クリア ㊤:戻る

1 1-2 故障履歴のクリア

故障履歴画面

1. 故障履歴 木 18:14

No.	日付	時刻	MC	UC	サーキット	コード
1	'22/ 5/26	18:13	1	--	--	12
2	'22/ 5/26	18:12	1	--	--	12
3	'22/ 5/26	18:11	1	--	--	1C
4	'22/ 5/26	18:08	1	--	--	1C
5	'22/ 5/19	14:15	1	1	A	60
6	'22/ 5/19	13:50	1	1	A	60
7	'22/ 5/19	12:50	1	1	D	60
8	'22/ 5/19	12:50	1	1	C	60

●:クリア ㊤:戻る

↓ 故障履歴クリア

1. 故障履歴 木 18:27

No.	日付	時刻	MC	UC	サーキット	コード
1	'22/ 5/26	18:13	1	--	--	12
2	'22/ 5/26	18:12	1	--	--	12
3	'22/ 5/19	14:15	1	1	A	60
4	'22/ 5/19	13:50	1	1	A	60
5	'22/ 5/19	12:50	1	1	D	60
6	'22/ 5/19	12:50	1	1	C	60
7						
8						

●:クリア ㊤:戻る

【●】(クリア) を押し、メッセージ画面で【●】(決定)を押す

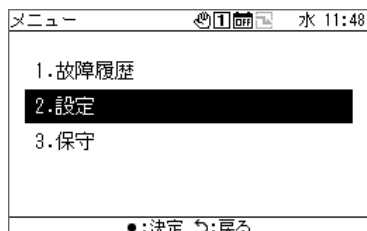
GR が検知した故障の故障履歴がクリアされます。

※GR から MC の故障履歴をクリアすることはできません。

MC の故障履歴をクリアしたい場合は、各 MC で故障履歴をクリアしてください。

1 2 設定項目

■「設定」画面の表示のしかた

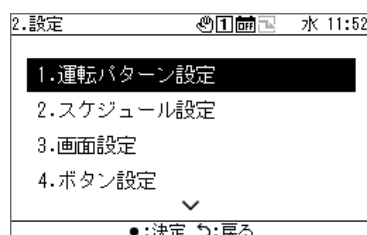


1 【三】 を押し、メニュー画面を表示する

2 メニュー画面で「設定」を選び【●】(決定)を押す
パスワード入力画面が表示されます。



3 4桁のパスワードを入力し、【●】(決定)を押す
【<】【>】で入力箇所を、【^】【v】で数字を選びます。



4 【^】【v】で項目を選び、【●】(決定)を押す

入力されたパスワードにより、機能に制限がかかることがあります。

設定項目一覧

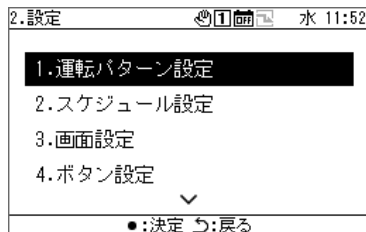
設定項目	説明	設定パスワードレベル		参照ページ
		管理者	ユーザー	
運転パターン設定	運転パターンを設定します。	●	○	P.28
スケジュール設定	運転スケジュールを設定することができます。	●	○	P.32
画面設定	コントラスト、バックライトの点灯時間を設定します。	●	●	P.35
ボタン設定	ボタン操作の設定をします。	●	○	P.36
時計設定	日時の設定をします。	●	○	P.37
入出力設定	デジタル入出力の機能設定をします。	●	○	P.38
言語設定	表示言語を設定します。	●	—	P.39
DNコード設定	DNコードの設定をします。	●	—	P.39

●：機能制限なし、○：機能制限あり、—：非表示

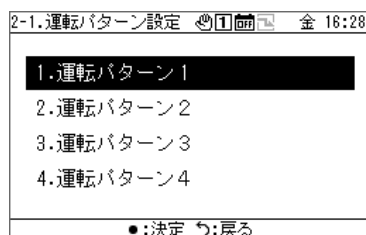
12-1 運転パターン設定

GRの系統毎のMC(MC系統)およびUCの系統振り分け、運転モード、設定温度、デマンド設定、センサ設定、パターン連動出力を一つの運転パターンとし、最大4つのパターンが設定可能です。

運転時は設定した運転パターンの一つを選択し、系統毎に選択した運転パターンの設定に従ってMCに指令を出します。



- 1 設定画面で「運転パターン設定」を選び、
【●】(決定)を押す



- 2 【△】【▽】で変更するパターンを選び、【●】(決定)を押す

	1	2	3	4
GR系統				
MC群制御	OFF	OFF	OFF	OFF
モード	冷却	加熱	停止	停止
冷却設定温	7.0	7.0	7.0	7.0
加熱設定温	45.0	45.0	45.0	45.0
デマンド	0	0	0	0

- 3 【<】【>】で変更する設定を選び、【●】(決定)を押す
各項目の設定内容、変更方法については、
次頁の表を参照してください。

- 4 変更を確定する場合は、【↵】(戻る)を押し、
メッセージ画面で【●】(決定)を押す

※FHPの場合、モードは加熱(※)のみとなります。

運転設定

GR 系統毎の運転条件を設定します。

運転設定画面

2-1-1.運転画面 1 木 9:20				
運転設定				
GR系統	1	2	3	4
MC群制御	OFF	OFF	OFF	OFF
モード	冷却	加熱	停止	停止
冷却設定温度	7.0	7.0	7.0	7.0
加熱設定温度	45.0	45.0	45.0	45.0
デマンド	0	0	0	0
●:変更 〽:戻る				

設定温度入力画面

2-1-1.運転画面 1 木 9:28				
冷却設定				
GR系統	1	2	3	4
MC群制御	OFF	OFF	OFF	OFF
モード	冷却	加熱	停止	停止
冷却設定温度	7.0	7.0	7.0	7.0
加熱設定温度	45.0	45.0	45.0	45.0
デマンド	0	0	0	0
●:決定 〽:取消 ●:変更 〽:戻る				

デマンド数値入力画面

2-1-1.運転画面 1 木 9:30				
デマンド				
GR系統	1	2	3	4
MC群制御	OFF	OFF	OFF	OFF
モード	冷却	加熱	停止	停止
冷却設定温度	7.0	7.0	7.0	7.0
加熱設定温度	45.0	45.0	45.0	45.0
デマンド	0	0	0	0
●:決定 〽:取消 ●:変更 〽:戻る				

「運転設定」設定項目一覧

項目	内容																	
MC 群制御 (FHP45、140S、140HL は対応していません)	MC 群制御の ON/OFF を設定します。 MC 群制御 OFF：同一系統内の MC 全数運転 MC 群制御 ON：負荷に応じて同一系統内の MC の運転台数を制御 操作手順： 【△】【▽】【<】【>】で変更する系統を選び、【●】(決定)を押すと ON/OFF が切替わります。 ※FHP700 のポンプキット付きのみ MC 群制御可能です。																	
モード	停止/冷却/加熱を切替えます。(FHP の場合、加熱のみになります) 操作手順： 【△】【▽】【<】【>】で変更する系統を選び、【●】(決定)を押すと冷却/加熱/停止が切替わります。																	
冷却設定温度 加熱設定温度 (FHP の場合、加熱温度のみ設定します)	冷却/加熱の設定温度を設定します。(FHP の場合、加熱温度を設定ください) 操作手順： 1 【△】【▽】【<】【>】で変更する系統を選び、【●】(決定)を押すと、設定温度入力画面が表示されます。 2 【<】【>】で入力箇所を、【△】【▽】で数値し変更し【●】(決定)を押します。 有効設定範囲は下表の通りです。(FHP の場合、加熱温度を設定ください) <table><tr><th rowspan="2">機種</th><th colspan="2">加熱設定温度[℃]</th></tr><tr><th>初期値</th><th>設定範囲</th></tr><tr><td>FHP700</td><td>65.0</td><td>50.0～90.0</td></tr><tr><td>FHP140S</td><td>65.0</td><td>50.0～90.0</td></tr><tr><td>FHP45</td><td>64.0</td><td>30.0～64.0</td></tr><tr><td>FHP140HL</td><td>50.0</td><td>30.0～64.0</td></tr></table>	機種	加熱設定温度[℃]		初期値	設定範囲	FHP700	65.0	50.0～90.0	FHP140S	65.0	50.0～90.0	FHP45	64.0	30.0～64.0	FHP140HL	50.0	30.0～64.0
機種	加熱設定温度[℃]																	
	初期値	設定範囲																
FHP700	65.0	50.0～90.0																
FHP140S	65.0	50.0～90.0																
FHP45	64.0	30.0～64.0																
FHP140HL	50.0	30.0～64.0																
デマンド	デマンド電流を設定します。(FHP700 のみ設定可能です) 操作手順： 1 【△】【▽】【<】【>】で変更する系統を選び、【●】(決定)を押すと、数値入力画面が表示されます。 2 【<】【>】で入力箇所を、【△】【▽】で数値し変更し【●】(決定)を押します。 入力できる値の範囲は、「0」～「30000」です。 ※初期値は「0」になっています。設定を間違えてデマンド・節電を有効にするとユニットが停止しますので注意してください。																	

系統設定

MC の A 系統に対する GR 系統の割り付けを行います。

※FHP45、14OHL、14OS の場合は MC が親機になります。

※FHP シリーズは A 系統のみ設定が可能です。

2-1-1.運転パネル 1 月 17:42

系統設定		
MC系統	系統 A	系統 B
MC-1	系統 1	----
MC-2	系統 2	----

●:変更 ㊦:戻る

1 【<】【>】「系統設定」を選び、【●】(決定)を押す

2-1-1.運転パネル 1 月 17:59

系統設定		
MC系統	系統 A	系統 B
MC-1	< 系統 1 >	----
MC-2	系統 2	----

●:変更 ㊦:戻る

2 【^】【v】で変更する箇所を選び、【●】(決定)を押す
選択箇所に<>が表示されます。

3 【<】【>】で系統を選び、【㊦】(戻る)を押す

4 変更を確定する場合は、【㊦】(戻る)を押し、
メッセージ画面で【●】(決定)を押す

UC 振分設定 (FHP700 のみ設定可能)

各 MC に対して UC の系統振り分けを行います。

2-1-1.運転パネル 1 木 9:59

UC振分設定			
MC-1	MC系統	系統 A	系統 B
	GR系統	系統 1	----

UC系統振分															
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16

●:決定 ㊦:戻る

1 【<】【>】「UC 振分設定」を選び、【●】(決定)を押す

2-1-1.運転パネル 1 木 9:59

UC振分設定			
MC-1	MC系統	系統 A	系統 B
	GR系統	----	----

UC系統振分															
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16

㊦:戻る

2 【^】【v】で設定する MC を、【<】【>】で振り分ける
UC を設定し、【㊦】(戻る)を押す

3 変更を確定する場合は、【㊦】(戻る)を押し、
メッセージ画面で【●】(決定)を押す

センサ設定 (FHP700 のみ設定可能)

制御用センサの系統設定を行うことができます。

2-1-1. 運転パターン 1 火 10:30

センサ設定		
MC系統	系統A	系統B
MC-1	----	----
MC-2	----	----

●:決定 ㊤:戻る

1 【<】 【>】 「センサ設定」を選び、【●】 (決定)を押す

2-1-1. 運転パターン 1 火 11:30

センサ設定		
MC系統	系統A	系統B
MC-1	< 系統1 >	----
MC-2	----	----

●:変更 ㊤:戻る

2 【^】 【v】 【<】 【>】 で変更する箇所を選び、
【●】 (決定)を押す
選択箇所に<>が表示されます。

3 【<】 【>】 で系統を選び、【㊤】 (戻る)を押す

4 変更を確定する場合は、【㊤】 (戻る)を押し、
メッセージ画面で【●】 (決定)を押す

連動出力設定

出力機能「パターン連動出力1、2」の出力方法を設定します。

※下記設定すると、「運転出力」「故障出力」は設定できなくなります。

2-1-1. 運転パターン 1 火 11:18

連動出力設定		
	連動出力1	連動出力2
出力	OFF	OFF

●:決定 ㊤:戻る

1 【<】 【>】 「連動出力設定」を選び、【●】 (決定)を押す

2-1-1. 運転パターン 1 火 11:21

連動出力設定		
	連動出力1	連動出力2
出力	OFF	OFF

●:変更 ㊤:戻る

2 【<】 【>】 で変更する箇所を選び、【●】 (決定)を押す
ON/OFF が切替わります。

3 変更を確定する場合は、【㊤】 (戻る)を押し、
メッセージ画面で【●】 (決定)を押す

1 2-2 スケジュール設定

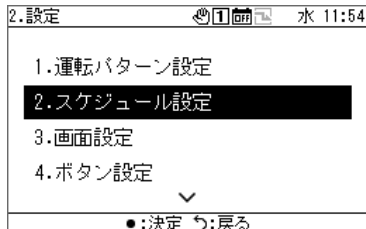
スケジュール設定前に、必ず時計を設定してください。

以下の場合、スケジュールは動作しません。

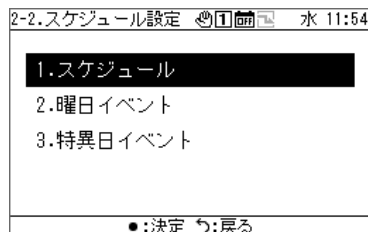
時計が未設定の場合

スケジュール設定で無効に設定されている場合

GR 操作画面でスケジュールが OFF に設定されている場合



- 1 設定画面で「スケジュール設定」を選び、
【●】(決定)を押す



- 2 【△】【▽】で項目を選び、【●】(決定)を押す

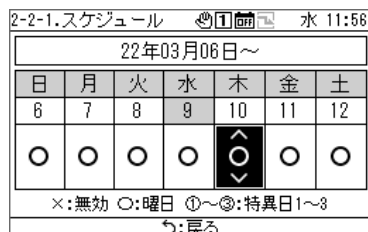
スケジュール

日付ごとに曜日イベントの有効、無効、特異日イベントでの動作を選択することができます。



- 1 【△】【▽】で「スケジュール」を選び、【●】(決定)を押す

- 2 【<】【>】で変更する週を選び、【●】(決定)を押す
5 週間分設定することができます。



- 3 【<】【>】で変更する日付を選び、【△】【▽】で
○(曜日イベント)、×(無効)、①～③(特異日 1～3)を
変更し、【↵】(戻る)を押す
初期設定はすべて「○(曜日イベント)」になっています。

- 4 変更を確定する場合は、【↵】(戻る)を押し、
メッセージ画面で【●】(決定)を押す

曜日イベント

GR からイベント時間にイベント(運転/停止)を自動的に行うことができます。1 日に設定できるイベントは 6 点です。

外部で運転/停止入力(連続信号)が設定されている場合、外部信号が優先されます。

[注意]

スケジュールでの運転/停止は設定時刻に一度だけの動作となります。

日曜日		
1	00:00	----
2	00:00	----
3	00:00	----
4	00:00	----
5	00:00	----
6	00:00	----

●:決定 ⏮:戻る

1 【<】【>】で「曜日イベント」を選び、【●】(決定)を押す

2 【<】【>】で変更する曜日を選び、【●】(決定)を押す

日曜日		
1	00:00	----
2	00:00	----
3	00:00	----
4	00:00	----
5	00:00	----
6	00:00	----

●:決定 ⏮:戻る

3 【<】【>】でスケジュールの時刻を選び、
【●】(決定)を押す
時刻入力画面が表示されます。

時刻入力

00:00

●:決定 ⏮:戻る

4 【<】【>】で入力箇所を、【<】【>】で時刻を変更し、
【●】(決定)を押す

日曜日		
1	10:00	----
2	00:00	----
3	00:00	----
4	00:00	----
5	00:00	----
6	00:00	----

●:決定 ⏮:戻る

5 【<】【>】でカーソルをイベント設定項目にあて、
【●】(決定)を押す
イベント切替え状態になります。

日曜日		
1	10:00	----
2	00:00	----
3	00:00	----
4	00:00	----
5	00:00	----
6	00:00	----

●:決定 ⏮:戻る

6 【<】【>】で「運転」または「停止」を選び、
【⏮】(戻る)を押す

7 変更を確定する場合は、【⏮】(戻る)を押し、
メッセージ画面で【●】(決定)を押す

特異日イベント

[注意]

特異日イベントでスケジュールを動作させたい場合は、「スケジュール(P.32)」で特異日 1～3 に設定してください。

外部で運転/停止入力（連続信号）が設定されている場合、外部信号が優先されます。

特異日		
1	00:00	----
2	00:00	----
3	00:00	----
4	00:00	----
5	00:00	----
6	00:00	----

●:決定 ◀:戻る

1 【△】【▽】で「特異日イベント」を選び、
【●】(決定)を押す

2 【<】【>】で変更する特異日を選び、【●】(決定)を押す

特異日		
1	00:00	----
2	00:00	----
3	00:00	----
4	00:00	----
5	00:00	----
6	00:00	----

●:変更 ▶:戻る

3 【△】【▽】でスケジュールの時刻を選び、
【●】(決定)を押す
時刻入力画面が表示されます。

時刻入力

00:00

●:決定 ▶:取消

●:変更 ▶:戻る

4 【<】【>】で入力箇所を、【△】【▽】で時刻を変更し、
【●】(決定)を押す

特異日		
1	10:00	----
2	00:00	----
3	00:00	----
4	00:00	----
5	00:00	----
6	00:00	----

▶:戻る

5 【<】【>】でカーソルをイベント設定項目にあて、
【●】(決定)を押す
イベント切替え状態になります。

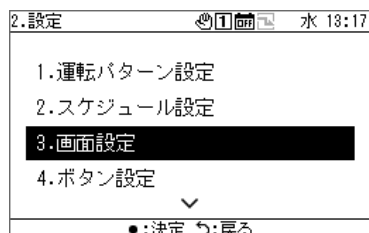
特異日		
1	10:00	----
2	00:00	----
3	00:00	----
4	00:00	----
5	00:00	----
6	00:00	----

▶:戻る

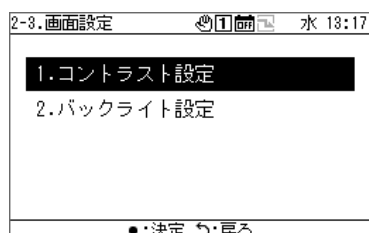
6 【<】【>】で「運転」または「停止」を選び、
【▶】(戻る)を押す

7 変更を確定する場合は、【▶】(戻る)を押し、
メッセージ画面で【●】(決定)を押す

1 2-3 画面設定



1 設定画面で「画面設定」を選び、【●】(決定)を押す



2 【△】【▽】で項目を選び、【●】(決定)を押す

コントラスト設定



1 「コントラスト設定」を選び、【●】(決定)を押す

2 【<】【>】で▲を動かす

3 変更を確定する場合は、【△】(戻る)を押し、
メッセージ画面で【●】(決定)を押す

バックライト設定

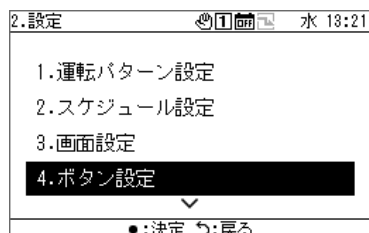


1 「バックライト設定」を選び、【●】(決定)を押す

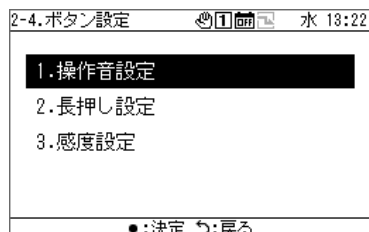
2 【<】【>】で▲を動かす

3 変更を確定する場合は、【△】(戻る)を押し、
メッセージ画面で【●】(決定)を押す

1 2-4 ボタン設定



1 設定画面で「ボタン設定」を選び、【●】(決定)を押す



2 【△】【▽】で項目を選び、【●】(決定)を押す

操作音設定

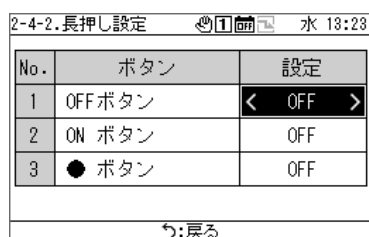


1 「操作音設定」を選び、【●】(決定)を押す

2 【<】【>】で「ON」または「OFF」を選ぶ

3 変更を確定する場合は、【↵】(戻る)を押し、メッセージ画面で【●】(決定)を押す

長押し設定



1 「長押し設定」を選び、【●】(決定)を押す

2 【△】【▽】で変更するボタンを選び、
【<】【>】で「OFF」または長押し時間を選ぶ
・長押し時間は 1～5 秒から選択できます

3 変更を確定する場合は、【↵】(戻る)を押し、メッセージ画面で【●】(決定)を押す

感度設定



1 「感度設定」を選び、【●】(決定)を押す

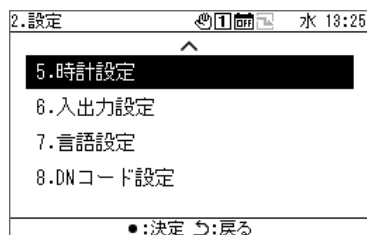
2 【<】【>】で▲を動かす

3 変更を確定する場合は、【↵】(戻る)を押し、メッセージ画面で【●】(決定)を押す

1 2-5 時計設定

時計設定は、西暦(年)、月、日、時、分を変更できます。

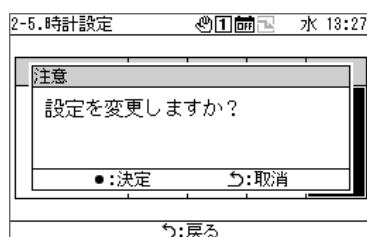
故障履歴や運転データ保存の際に記録が残るため、必ず設定を行ってください。



1 設定画面で「時計設定」を選び、【●】(決定)を押す



2 【<】【>】でカーソルを動かし、【∧】【∨】で西暦、月、日、時、分を変更する



3 変更を確定する場合は、【↵】(戻る)を押し、メッセージ画面で【●】(決定)を押す

12-6 入出力設定

運転パターンや、デマンド信号などの外部入力、運転信号や故障信号などの外部への信号出力の機能を割り当てることができます。

外部入出力配線には、ノイズ等が印加されないようにしてください。

[注意]

外部、または運転中の場合は、設定の変更はできません。機器を停止させてから行ってください

デジタル入力設定 ※工場出荷時の状態は「入出力機能一覧 (P48)」をご参照ください。

2. 設定 水 13:28

5. 時計設定

6. 入出力設定

7. 言語設定

8. DNコード設定

●:決定 ㊤:戻る

1 設定画面で「入出力設定」を選び、【●】(決定)を押す

※工場出荷時設定は「運転/停止入力」と「運転パターン入力 1」「運転パターン 2」に割り付けてあります。

2-6. 入出力設定 水 13:34

< デジタル入力 >

DI	機能
1	運転/停止入力
2	運転パターン入力 1
3	デマンド入力

●:決定 ㊤:戻る

2 【<】【>】で「デジタル入力」を選び、【●】(決定)を押す

デマンド入力はFHP700のみ設定可能です。この変更は「運転パターン 2」⇒「デマンド入力」にする例です。

2-6. 入出力設定 水 13:42

< デジタル入力 >

DI	機能
1	< 運転/停止入力 >
2	運転パターン入力 1
3	デマンド入力

㊤:戻る

3 【^】【v】で設定する入力端子を選び、

【<】【>】で入力信号を変更する

4 変更を確定する場合は、【㊤】(戻る)を押し、

メッセージ画面で【●】(決定)を押す

変更後、再起動を行います。

デジタル出力設定 ※工場出荷時の状態は「入出力機能一覧 (P48)」をご参照ください。

2-6. 入出力設定 水 14:00

< デジタル出力 >

DO	機能
1	運転出力
2	故障出力

●:決定 ㊤:戻る

1 設定画面で「入出力設定」を選び、【●】(決定)を押す

2 【<】【>】で「デジタル出力」を選び、【●】(決定)を押す

2-6. 入出力設定 水 14:01

< デジタル出力 >

DO	機能
1	< 運転出力 >
2	故障出力

㊤:戻る

3 【^】【v】で設定する出力端子を選び、

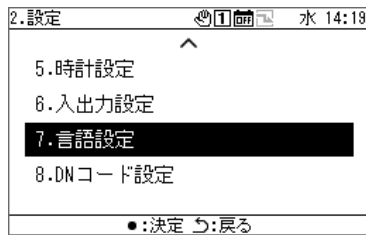
【<】【>】で出力信号を変更する

4 変更を確定する場合は、【㊤】(戻る)を押し、

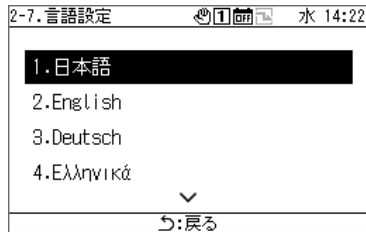
メッセージ画面で【●】(決定)を押す

変更後、再起動を行います。

12-7 言語設定



1 設定画面で「言語設定」を選び、【●】(決定)を押す



2 【△】【▽】で言語を選択する

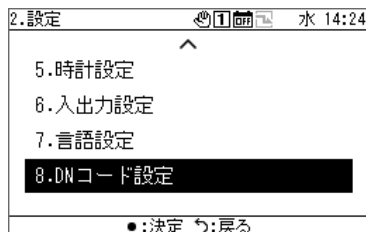
3 変更を確定する場合は、【↵】(戻る)を押し、メッセージ画面で【●】(決定)を押す

12-8 DNコード設定

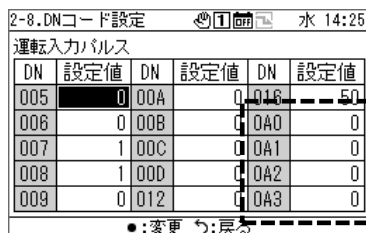
DN コード一覧は P.49 をご参照ください。

[注意]

運転中は再起動が必要な DN コードの変更はできません。



1 設定画面で「DN コード設定」を選び、【●】(決定)を押す



2 【△】【▽】【<】【>】で設定する DN コードを選び、【●】(決定)を押す

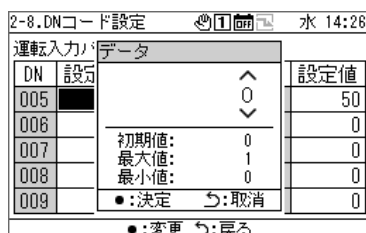
初期設定は、FHP45、140HL の 6 に設定されています。

DN	設定値
OA0	6
OA1	6
OA2	6
OA3	6

FHP700 接続時：2 に変更

FHP140S 接続時：4 に変更

3 【△】【▽】で数値を変更し、【●】(決定)を押す



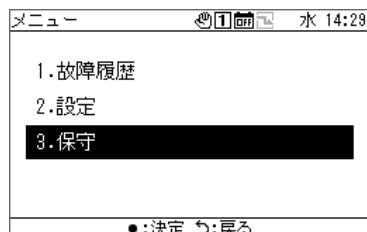
4 変更を確定する場合は、【↵】(戻る)を押し、

メッセージ画面で【●】(決定)を押す

設定値に 〇 が表示されている項目を変更した場合は、再起動を行います。

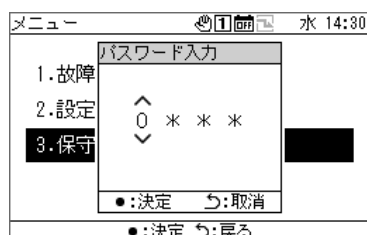
1 3 保守項目

「保守」画面の表示のしかた

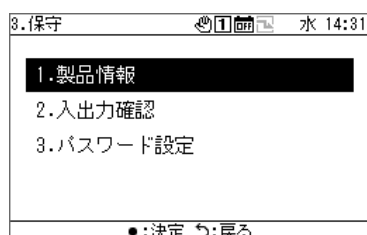


1 【三】 を押し、メニュー画面を表示する

2 メニュー画面で「保守」を選び【●】(決定)を押す
パスワード入力画面が表示されます。



3 4桁の保守パスワードを入力し、【●】(決定)を押す
【<】【>】で入力箇所を、【^】【v】で数字を選びます。



4 【^】【v】で項目を選び、【●】(決定)を押す

入力されたパスワードにより、機能に制限がかかることがあります。

保守項目一覧

設定項目	説明	保守パスワードレベル		参照ページ
		管理者	ユーザー	
製品情報	製造番号、ソフト番号等、製品の情報を表示します	●	●	P.41
入出力確認	入出力設定で設定した外部入力、外部への信号出力を確認することができます。	●	—	P.41
パスワード設定	設定パスワードと保守パスワードを変更します	●	—	P.42

●：機能制限なし、○：機能制限あり、—：非表示

1 3-1 製品情報

3-1.製品情報		水 14:59
製品形名	: RBP-RC001	
製造番号	: 0000W00000	
ソフト番号	: 32RCAP606000000-21	
OS番号	: S**_***_***	
戻る		

保守画面で「製品情報」を選び、【●】(決定)を押す
製品形名、製造番号、ソフト番号、OS 番号を表示します。

1 3-2 入出力確認

デジタル入力確認

各端子に設定されている機能とその状態を確認することができます。

デジタル入力確認画面

3-2.入出力確認		水 14:40
デジタル入力		
DI	状態	機能
1	OFF	運転／停止入力
2	OFF	運転パターン入力1
3	OFF	デマンド入力
戻る		

保守画面で「入出力確認」を選び、【●】(決定)を押す

デジタル出力確認

[注意]

外部、または運転中の場合は、デジタル出力の操作はできません。
デジタル出力の確認は、機器を停止させてから行ってください。

デジタル出力確認画面

3-2.入出力確認		水 14:41
デジタル出力		
DO	状態	機能
1	OFF	運転出力
2	OFF	故障出力
●:決定 戻る		

1 保守画面で「入出力確認」を選び、【●】(決定)を押す

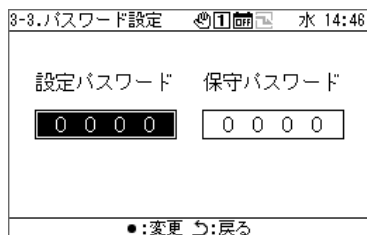
2 【<】【>】で「デジタル出力」を選び、【●】(決定)を押す

3-2.入出力確認		水 14:43
デジタル出力		
DO	状態	機能
1	OFF	運転出力
2	OFF	故障出力
●:変更 戻る		

3 【^】【v】で確認する端子を選び、【●】(決定)で
状態の ON/OFF を切替えます
出力先の状態を確認してください。

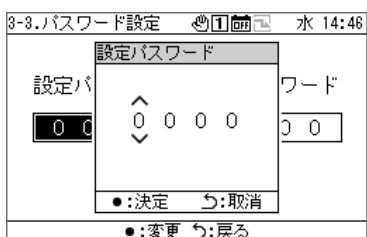
1 3-3 パスワード設定

設定パスワードと保守パスワードの変更を行うことができます。
設定パスワードと保守パスワードは同じ手順で変更可能です。



1 保守画面で「パスワード設定」を選び、【●】(決定)を押す

2 【<】【>】で「設定パスワード」または「保守パスワード」を選び、【●】(決定)を押す



3 新しいパスワードを入力し、【●】(決定)を押す
【<】【>】で入力箇所を、【^】【v】で数字を選びます。

4 変更を確定する場合は、【⏮】(戻る)を押し、
メッセージ画面で【●】(決定)を押す

1 4 表示/設定項目一覧

1 4-1 情報画面表示項目一覧

各情報画面に表示する項目の一覧を示します。下記注記以外にも機器によっては表示されない項目や、「---」表示になる項目があります。

注 1：FHP45、140S、140HL の場合、流量計を設置し信号入力する事で熱源流量（循環流量）を表示することが可能となります。FHP140S の場合、外部温度センサの信号を入力している場合に往水温度を表示することが可能です。FHP700 の場合、流量計を設置し、外部熱源側往水・還水温度センサの信号を MC に入力する事で熱源流量、往水温度、還水温度を表示することが可能となります。

注 2：FHP700 の場合、オプションのポンプキットを設置した場合に表示可能です。

FHP45、140S、140HL にはポンプキットはありません。

注 3：FHP45、140S、140HL の場合、MC はマスター機（親機）のソフト内に組み込まれています。

注 4：FHP45 の場合、高圧圧力、低圧圧力は表示しません。

注 5：FHP45、140S、140HL の場合、どの UC が故障しているかは、UC 情報画面でご確認ください。

注 6：簡易電力は概算値であり、保証するものではありません。（熱源流量を元にした概算値）

全体情報画面

項目	内容	機種		
		FHP700	FHP 140S	FHP45 FHP 140HL
GR 系統	GR の系統番号を表示します。	●	●	●
MC 台数	GR 系統の MC 台数を表示します。	●	●	●
UC 台数	GR 系統の UC 台数を表示します。	●	●	●
連動	GR 系統の操作パターンを表示します。	●	●	●
運転	GR 系統の運転/停止状態を表示します。	●	●	●
モード	GR 系統の運転モードを表示します。	●	●	●
運転容量	GR 系統の運転容量を表示します。	●	●	●
設定温度	GR 系統の設定温度を表示します。	●	●	●
出口水温	GR 系統の出口水温を表示します。	●	●	●
入口水温	GR 系統の入口水温を表示します。	●	●	●
熱源流量	GR 系統の熱源機側の換算流量を表示します。(注 1)	●	●	●
負荷流量	GR 系統の負荷側の(換算)流量を表示します。(注 1)	○	---	---
往水温度	GR 系統の往水温度を表示します。(注 1)	○	---	---
還水水温	GR 系統の還水温度を表示します。(注 1)	○	---	---
簡易電力	GR 系統の簡易電力を表示します。(注 6)	●	●	●

●：表示、○：条件によって「---」表示、---：「---」表示、×：表示なし

系統情報画面

項目	内容	機種		
		FHP700	FHP 140S	FHP 45 FHP 140HL
故障コード	GR 系統で発生している故障の故障コードを6桁で表示します。 1 2 3 4 5 6 5 6—故障コード 4 ———故障サーキット番号 0 : UC システム故障 A ~ D : サーキット故障 2 3 ———故障 UC 番号(注 5) 00 : MC 故障 01 ~ 16 : UC 故障 (FHP-45、140S、140HL) 1 —————故障 MC 番号 0 : GC 故障 1 ~ 2 : MC 故障	●	●	●
MC 台数	GR 系統の MC 台数を表示します。	●	●	●
UC 台数	GR 系統の UC 台数を表示します。	●	●	●
設定温度	GR 系統の設定温度を表示します。	●	●	●
出口水温	GR 系統の出口水温を表示します。	●	●	●
入口水温	GR 系統の入口水温を表示します。	●	●	●
熱源流量	GR 系統の熱源機側の換算流量を表示します。(注 1)	●	●	●
負荷流量	GR 系統の負荷側の(換算)流量を表示します。(注 1)	○	---	---
往水温度	GR 系統の往水温度を表示します。(注 1)	○	---	---
還水水温	GR 系統の還水温度を表示します。(注 1)	○	---	---
簡易電力	GR 系統の簡易電力を表示します。(注 6)	●	●	●

● : 表示、○ : 条件によって「---」表示、--- : 「---」表示、× : 表示なし

MC 情報画面

項目	内容	機種		
		FHP700	FHP 140S	FHP 45 FHP 140HL
故障コード	MC 系統で発生している故障の故障コードを5桁で表示します。 1 2 3 4 5 4 5—故障コード 3—故障サーキット番号 0 : UC システム故障 A~D : サーキット故障 1 2—故障 UC 番号 00 : MC 故障 01~16 : UC 故障	●	●	●
UC 台数	MC 系統の UC 台数を表示します。	●	●	●
遠方	MC 系統の操作パターンを表示します。	●	●	●
運転	MC 系統の運転/停止状態を表示します。	●	●	●
モード	MC 系統の運転モードを表示します。	●	●	●
運転容量	MC 系統の運転容量を表示します。	●	●	●
設定温度	MC 系統の設定温度を表示します。	●	●	●
出口水温	MC 系統の出口水温を表示します。	●	●	●
入口水温	MC 系統の入口水温を表示します。	●	●	●
熱源流量	MC 系統の熱源機側換算流量を表示します。(注 1)	●	●	●
簡易電力	MC 系統の簡易電力を表示します。(注 6)	●	●	●
ヒーター	MC 系統のヒーター出力状態を表示します。	●	×	×

● : 表示、○ : 条件によって「---」表示、--- : 「---」表示、× : 表示なし

UC 情報画面

項目	内容	機種		
		FHP700	FHP140S	FHP45 FHP140HL
故障コード	UC で発生している故障の故障コードを3桁で表示します。 1 2 3 2 3—故障コード 1 ———故障サーキット番号 0 : UC システム故障 A~D : サーキット故障	●	●	●
遠方	UC の操作パターンを表示します。	●	●	●
運転	UC の運転/停止状態を表示します。	●	●	●
モード	UC の運転モードを表示します。	●	●	●
運転容量	UC の運転容量を表示します。	●	●	●
設定温度	UC の設定温度を表示します。	●	●	●
出口水温	UC の出口水温を表示します。	●	●	●
入口水温	UC の入口水温を表示します。	●	●	●
外気温度	UC の外気温度を表示します。	●	●	●
熱源流量	UC の熱源流量を表示します。(注 1)	●	●	●
簡易電力	UC の簡易電力を表示します。(注 5)	●	●	●
三方弁	UC のポンプキット三方弁開度を表示します。(注 2)	●	×	×
P-KIT 入口	UC のポンプキットの入口水温を表示します。(注 2)	●	×	×
熱源水出	FHP700 は UC のポンプキット出口水温を表示します。(注 2)	●	×	×
熱源水入	FHP700 は UC のポンプキット入口水温を表示します。(注 2)	●	×	×
高圧圧力	高圧圧力を表示します。(注 4)	×	×	● (1401HL のみ)
低圧圧力	低圧圧力を表示します。(注 4)	×	×	● (1401HL のみ)

● : 表示、○ : 条件によって「---」表示、--- : 「---」表示、× : 表示なし

サーキット情報画面

項目	内容	対応機種		
		FHP700	FHP 140S	FHP 45 FHP 140HL
コンプ運転	コンプレッサーの ON/OFF を表示します。	●	●	×
高圧圧力	高圧圧力を表示します。	●	●	×
低圧圧力	低圧圧力を表示します。	●	●	×

●：表示、○：条件によって「---」表示、---：「---」表示、×：表示なし

1 4-2 入出力機能一覧

デジタル入力機能

機能名	設定区分	機能詳細	初期設定 端子番号
—	—	機能なし	未設定
運転/停止入力	全体	外部メイク信号による運転/停止操作を行う場合に使用します。(注1)	DI1
停止入力(パルス)		外部パルス信号による停止操作を行う場合に使用します。	未設定
運転パターン入力 1		リモコンが外部の時に有効です。 運転パターン入力の入力信号の組み合わせにより、リモコンの運転パターンを切替えます。	DI2
運転パターン入力 2			DI3
デマンド入力(注2)		外部からデマンドを有効にする場合に使用します。	未設定

注1：運転/停止(連続信号)を運転/停止(パルス)に変更可能です。詳細は「DN コード設定(P.39)」、「DN コード一覧(P.49)」をご参照ください。停止入力(パルス)が設定されている場合、運転/停止入力は運転入力(パルス)として機能します。

注2：デマンド設定値の初期値が「0」になっています。FHP700の場合、設定を間違えてデマンドを有効にするとユニットが停止しますので注意してください。FHP45、140S、140HL は、デマンド機能には対応していません。

デジタル出力機能

機能名	設定区分	機能詳細	初期設定 端子番号
—	—	機能なし	未設定
運転出力	全体	運転時に出力します。(容量制御による圧縮機停止時も出力します) 「運転出力レベル」の設定により、出力方法を変更することができます。※	DO1
故障出力		故障発生時に出力します。 「故障出力レベル」の設定により、出力方法を変更することができます。※	DO2
運転パターン出力 1		運転パターンの状態を運転パターン出力の組み合わせで出力します。	未設定
運転パターン出力 2			未設定
パターン連動出力 1		選択されている運転パターンのパターン連動出力設定の状態を出力します。	未設定
パターン連動出力 2			未設定

※詳細は「DN コード設定(P.39)」、「DN コード一覧(P.49)」をご参照ください。

1 4-3 DN コード一覧

DN コード	項目	内容	初期値	再起動
005	運転入力パルス	運転入力をパルス信号入力に切替えます。 0：連続信号 1：パルス信号	0	不要
006	故障停止リセット	外部停止時の故障リセットを有効にします。 無効の場合は、外部停止で故障を保持します。 0：無効 1：有効	0	不要
007	運転出力レベル	運転ランプ、運転出力の動作を切替えます。 0：GR 運転時に出力 1：GR 運転、系統運転(系統単独運転)時に出力 2：GR 運転、系統運転(系統単独運転)、MC 運転 (手元外部運転含む)時に出力	1	不要
008	故障出力レベル	故障ランプ、故障出力の動作を切替えます。 0：GR 故障時に出力 1：GR 故障、系統故障時に出力 2：GR 故障、系統故障、MC 故障(手元外部運転含む)時に出力	1	不要
009	節電操作表示	GR 操作画面に節電操作を表示します。 0：非表示 1：表示	0	不要
00A	停電復帰	復電時の自動復帰機能を有効にします。 停電時間に関係なく、復電時に停電前のリモコン運転/停止、系統単独運転/停止状態に復帰します。 0：無効 1：有効 [注意] GR が外部で運転/停止入力（連続信号）を使用している場合、GR は運転/停止入力の信号に従います。	0	不要
00B	停電復帰時間(秒)	停電時間復帰の時間を設定します。 設定時間内の停電であれば、復電時に停電前のリモコン運転/停止、系統単独運転/停止状態に復帰します。 有効にするためには3秒以上に設定してください。 0 秒～2 秒：無効 3 秒～9 分 59 秒：有効	0	不要
00C	停電復帰時間(分)	[注意] ・停電復帰(DN コード：00A)が有効の場合、停電復帰が優先されます。 ・停電時間の検知には最大2秒の誤差が生じるため、誤差を考慮して設定してください。 ・GR が外部で運転/停止入力（連続信号）を使用している場合、GR は運転/停止入力の信号に従います。	0	不要
00D	MC 遠方運転時 停電復帰	MC 遠方運転時停電復帰を有効にします。 有効にした場合、復電後 10 秒以内に遠方 MC の運転が確認できれば、停電前の状態に関係なく運転復帰し、MC の停止を回避します。 0：無効 1：有効 [注意] GR が外部で運転/停止入力（連続信号）を使用している場合、GR は運転/停止入力の信号に従います。	0	不要

DN コード	項目	内容	初期値	再起動
O12	MC 手元外部時 GR デマンド無効	MC 手元外部時の GR デマンドを無効にします。 有効の場合、MC が手元/外部でも、GR のデマンド信号で MC がデマンドします。 0：有効 1：無効	0	不要
O16	MC 出入口温度 算出流量下限	熱量による系統の出入口平均温度計算の下限流量を設定し ます。低流量域では流量誤差により平均温度がずれる場合 があります。 MC の流量が設定以下の場合、出入口温度の単純平均値を 使用します。	50	不要
OA0	系統 1 機種設定	機種設定に合わせて、運転パターンの設定範囲や画面表示 項目の切替え等を行います。 0：－ 1：－ 2：FHP700 3：－ 4：FHP140S 5：－ 6：FHP45、140HL 8：－ ※0,1,3,5,8 は FHP シリーズでは使用しません。 ※機種設定を変更した場合、運転パターンのモードと設定 温度が機種で有効な設定値に変更されます。機種設定を 変更した場合は必ず運転パターンの設定を確認してくだ さい。	6	不要
OA1	系統 2 機種設定		6	不要
OA2	系統 3 機種設定		6	不要
OA3	系統 4 機種設定		6	不要

15 故障かな？と思ったときは

製品が故障した場合、ご自身で修理はせず、お買上げの販売店またはお近くの弊社支社店にご連絡ください。その際、機種名、故障コード、お問合せ番号をお知らせください(お問合せ番号は製品本体に貼付されているラベルをご参照ください)。

ただし、下表に示す内容は故障ではありませんので、事前にご確認ください。

症状	原因
ボタンを押したが反応しない。	- バックライトが消灯中、いずれかのボタンを押した場合は、バックライトが点灯します。再度操作したいボタンを押してください。 - 操作が無効なボタンです。(ブザーが鳴りません) - ボタンの長押し設定をしている場合は、ボタンを長押ししてください。
運転しているのに運転ランプが点灯しない、運転出力がONしない。 停止しているのに運転ランプが消灯しない、運転出力がOFFしない。	運転ランプ、運転出力はDNコード「運転出力レベル」の設定により動作が変わります。「運転出力レベル」の設定を確認してください。
故障しているのに故障ランプが点灯しない、故障出力がONしない。	故障ランプ、故障出力はDNコード「故障出力レベル」の設定により動作が変わります。「故障出力レベル」の設定を確認してください。
故障していないのに故障ランプが点灯する、故障出力がOFFしない。	故障を出力する入出力機能には「故障出力」と、状態を反転して出力する「故障反転出力」があります。入出力機能設定を確認してください。
入出力機能が動作しない。	入出力信号には外部電源が必要です。外部電源の電源が切れていないか確認してください。
機器の情報が表示されない。	- 接続機器の電源が切れていないか確認してください。 - 接続機器のアドレス設定が合っているか確認してください。

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点は **お買い上げの販売店にご相談ください。**

販売店に修理のご相談ができない場合

循環加温ヒートポンプ 修理ご相談窓口

ご連絡の際には使用製品の型番・製造番号等の情報をご用意ください。



0570-011039

ENG 課 TEL: 03 (3621) 2133
FAX: 03 (3621) 2130

【ナビダイヤルに関するご注意】

※ナビダイヤルは通話料のみでご利用できます。
※電話窓口が混雑している場合、アナウンスが流れた後、
話中の音が流れる場合があります。その場合には、
時間を置いて再度おかけ直してください。
※PHS、IP電話からはご利用になれません。
関東地区のお客様はENG課、その他の地域のお客様は
最寄りの営業所まで直接お問い合わせください。

- お客様からご提供いただいた個人情報、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連するグループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

保証書 (別添)

この循環加温ヒートポンプには、保証書を別途添付しております。

- 保証書は、必ず「お買い上げ日、販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- この循環加温ヒートポンプの保証期間は、お買い上げいただいた日から3年間です。その他、詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

- 循環加温ヒートポンプの補修用性能部品の保有期間は製造打切り後7年です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

(出張修理になります)

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、漏電遮断器を切ってから、お買い上げの販売店にご連絡ください。修理は専門の技術が必要です。ユニットの故障に起因した営業保証など間接的な損害についての保証はいたしかねます。

保証期間中は

修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すればご使用できる場合にはご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品 名	循環加温ヒートポンプ	
形 名		
お買い上げ日	年 月 日	
故 障 の 状 況	できるだけ具体的に	
ご 住 所	付近の目印なども合わせてお知らせください。	
お 名 前	電話番号	訪問希望日

記入されておくと便利です。

お買い上げ店名

電話番号

株式会社 **日本イートミック** <https://www.itomic.co.jp/>

本 社	〒131-0045 東京都墨田区押上1-1-2 東京スカイツリーイーストタワー24F	TEL 03(3621)2121	FAX 03(3621)2130
北海道営業所	〒063-0801 北海道札幌市西区二十四軒1条5-1-10 (ラポール24軒2号館)	TEL 011(615)6681	FAX 011(615)7004
東北営業所	〒983-0014 宮城県仙台市宮城野区高砂2-8-21	TEL 022(357)0848	FAX 022(357)0847
中部営業所	〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内1-4-12 アレックスビル3F	TEL 052(222)2561	FAX 052(222)2559
関西営業所	〒541-0048 大阪府大阪市中央区久太郎町3-1-11 VORT 御堂筋本町II 7F	TEL 06(7177)4949	FAX 06(7177)4948
中国営業所	〒730-0051 広島県広島市中区大手町2-3-9 大手町中村ビル	TEL 082(240)1361	FAX 082(240)1363
九州営業所	〒812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵3-28-5	TEL 092(481)3911	FAX 092(481)3930